

<対象機種>

OX

ZZR / GWXIII / SX / SR / MX / MR

ゼットゼットアール / ジーダブリューエックススリー / エスエックス / エスアール / エムエックス / エムアール

REV

LX / LR / FX / FR

エルエックス / エルアール / エフエックス / エフアール

取扱説明書

安全にご使用いただくために



- * ご使用前に、本書を最後までよくお読みください。
- * お子様が使用される場合は、保護者の方が本書をよくお読みになり、万全なご指導をお願いします。
- * 日頃の点検を怠ると、思わぬ事故のおそれがあります。

はじめに

この度は、オーエックス製品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。

この取扱説明書には、お買い上げいただいた製品が十分にその性能・機能を発揮できるように、また、安全にご使用いただけるように、正しい取扱い方法や点検・整備などについて必要な事柄を記載してあります。車いすの取扱いを十分ご存じの方も、この製品独自の装備・取扱いがありますので、必ずご使用前に本書をよくお読みになっていただき、正しく、安全で、快適にご使用ください。

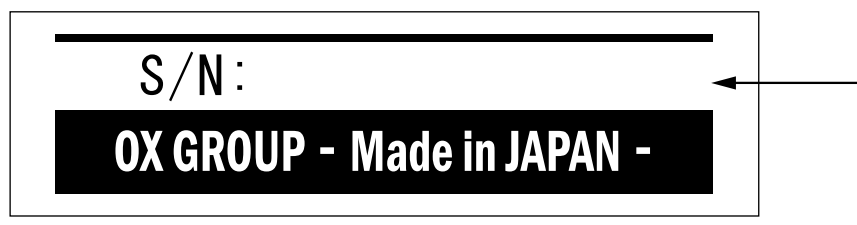
また、お子様が使用される場合は、保護者の方と一緒に本書をお読みいただき、保護者の方の万全なご指導をお願いします。

なお、本書は紛失しないように大切に保管してください。

<シリアルナンバー表示位置>

アフターサービスについてのご相談に対し、的確な判断・処置をするため、シリアルナンバーを正確にご連絡ください。なお、シリアルナンバーはメインフレーム右側及び保証書に貼られています。

あなたの車いすのシリアルナンバー



シリアルナンバーをご記入ください。

*仕様変更や各機種共通仕様などにより、図や内容が一部実物と異なる場合がありますのでご了承ください。

< 付属品 >

付属品は次の通りです。ご確認ください。

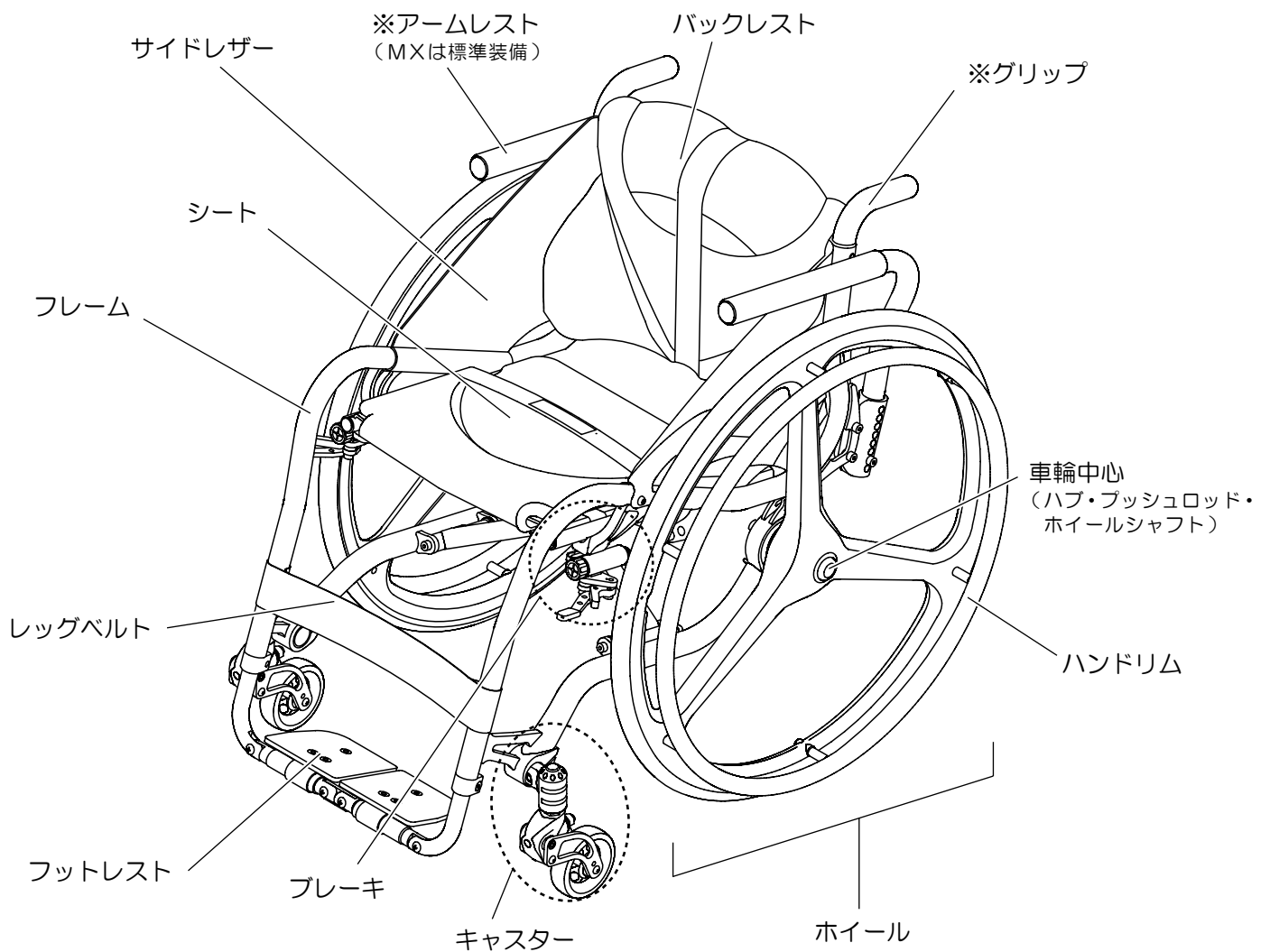


本 書



保証書 / 延長保証登録ハガキ

< 各部の名称 > ※オプション



はじめに	2	インナーレザーの取付け	37
シリアルナンバー表示位置	2	バックレスト高の調整・着脱	38
付属品	3	シートレザーの張り調整(FX・FRを除く)	39
各部の名称	3	シートレザーの張り調節(FX・FR)	39
安全上のご注意	5	レザーの点検	39
総 説		車軸位置の調整・点検	40
基本的な操作方法	12	キャンバーの有無(エキセントリックカラー)	40
お手入れについて	12	車軸調節穴の変更(エキセントリックカラー)	40
保管について	12	車軸位置の調整(サスペンション)	42
調整・点検について	12	サスペンションの点検	42
調整可能な箇所	12	後座高の調整(エキセントリックカラー)	43
車いすに乗る前に		トーチ法の修正(キャンバー付きのみ)	44
車いすの折りたたみ(FX・FRを除く)	14	ホイール取付け間隔の調整	45
折りたたむ	14	キャストの調整・点検	47
開く	15	前座高の調節	47
ホイールの着脱・点検	16	キャスト角の調整(LX・LR・FX・FRを除く)	48
ホイールの取外し	16	トレッドの調整(LR・LX・FR・FXを除く)	48
ホイールの取付け	16	ハイトの調整(GWXⅢ・LX・LR・FX・FRを除く)	49
ホイールの点検	16	キャンバー角の調整(GWXⅢ・LX・LR・FX・FRを除く)	49
ブレーキの種類・操作	17	キャストの点検(GWXⅢ・LX・LR・FX・FRを除く)	49
アジャスタブルブレーキ	17	ハイトの調整(GWXⅢ)	50
ブレーキのかけ方	17	キャンバー角の調整(GWXⅢ・LX・LR・FX・FR)	50
ブレーキの解除	17	キャストの点検(GWXⅢ・LX・LR・FX・FR)	50
ブレーキの調整・点検	18	アームレストの調整・点検	51
ダイヤルアジャストの調整	18	アームレスト高の調節①	51
ステー取付け位置の調節	19	アームレスト高の調節②(ZZR・LX・LR・FX・FR)	51
ブレーキの点検	19	アームレストの点検	51
バックレスト角度の調整・点検	20	その他の調整・点検	52
バックレストの角度調整(ZZR)	20	キャストフォーク「SFR2」の調整	52
乗車・安全な介助	21	キャストフォーク「SFR2」の調整範囲	52
乗車姿勢	21	ゴムダンパーについて	52
安全な介助のために	21	レッグベルトの着脱	53
各部の調整・点検		キャストホイール「LPC3」のゴム交換	53
フットレストの調整・点検	24	タイヤの点検	54
フットレストの種類	24	ホイール回りの点検	54
フットレスト長の調節(スタンダード)	25	その他の点検	54
フットレスト長の調節(ハイマウント)	26	日常・定期点検	55
ハイマウントフットレストの調節可能範囲	27	日常点検	55
フットプレートの角度調整	28	定期点検	55
セパレートフットレスト(スタンダード)の角度修正	29	その他	
セパレートフットレスト(ハイマウント)の角度修正	30	ZZR仕様諸元	58
フットレストの点検	30	GWXⅢ仕様諸元	59
バックレスト及びレザー類の調整・点検	31	SX / SR仕様諸元	60
アウターレザーの取外し	31	MX / MR仕様諸元	61
アウターレザーの取付け	31	LX / LR仕様諸元	62
ヒップレザーの取外し	32	FX / FR仕様諸元	63
ヒップレザーの取付け	32	お客様ご相談窓口のご案内	64
サイドレザーの取外し(ZZR・GWXⅢ・SX・MX・LX)	33	お客様ご相談窓口	64
サイドレザーの取付け(ZZR・GWXⅢ・SX・MX・LX)	33	アフターサービスの実施	64
サイドレザーの取外し(FX)	34	パンクでお急ぎの場合には	64
サイドレザーの取付け(FX)	34		
サイドガードの取外し(ZZR・GWXⅢ)	35		
サイドガードの取付け(ZZR・GWXⅢ)	35		
インナーレザーの調整	36		
インナーレザーの取外し	37		

安全上のご注意

＜絵表示について＞

この取扱説明書では、この製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防ぐために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は、次のとおりです。内容をよく理解してから本文をお読みください。



この表示を無視して誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を指しています。



この表示を無視して誤った取扱いをすると、人が損傷を負う可能性が想定される内容及び物的損害のみの発生が想定される内容を指しています。



この表示は、増し締め箇所を示しています。
定期的に、緩みがないか点検・増し締めをしてください。



この表示は、注油場所を示しています。
定期的（1 か月に 1 度が目安）に、注油をしてください。



この表示の示す箇所には、絶対に潤滑油などの油分は塗布してはいけません。
万が一、油分などが付着した場合は、十分に脱脂してください。



自操用車いす以外の目的に使用しない。

転倒など事故のおそれがあります。また、車いすを損傷させるおそれがあります。
この製品は、自操・平坦地専用です。新たに補助動力装置などを取付けると保証の適用は除外されますので、取付けないでください。

壊れたままや異常がある時は使用しない。

転倒など事故のおそれがあります。
故障や異常を見つけた場合には車いすの使用をやめ、販売店にご相談ください。

改造・分解しない。

改造すると安全性が低下して、部品が破損したり、外れたり、車いすを損傷させたりし、転倒など事故のおそれがあります。
改造・分解は行わず、整備が必要な時は販売店にご相談ください。

調整作業に不安がある（調節方法がわからない）時は調整しない。

部品が破損したり、外れたり、車いすを損傷させて、転倒など事故のおそれがあります。
不安な時は販売店にご相談ください。

不十分な調整状態で使用しない。

身体に無理をかけたり、^{じよくそう}褥瘡などになるおそれがあります。
身体の状態に合わせて、正しい乗車姿勢が保て、麻痺部位と車いすの固い部分（フレームなど）が接触しないように調整してください。

ホイールの装着後、固定を確認せずに使用しない。（P.16）

ホイールが外れて転倒など事故のおそれがあります。
必ず乗る前に点検してください。

乗車時はプッシュロッドには触れない。（P.16）

ホイールが外れて転倒など事故のおそれがあります。

車軸前後位置及び座面の高さは、身体の状態に合わせ無理をしない。（P.40～43）

転倒・転落のおそれがあります。

高温になる場所（炎天下の自動車内、暖房器具の近くなど）に置かない。

車いすが加熱され、火災や火傷のおそれがあります。また、パンクなど部品を著しく傷めるおそれがあります。

車いすに巻き込まれやすい服装は避ける。

ホイールやキャスターなどに巻き込まれ、転倒など事故のおそれがあります。

他の乗り物につかまりながらの移動はしない。

車いすを損傷させたり転倒・転落などのおそれがあります。

車いすを踏み台にしたり、車いすの上で立ち上がったりしない。

バランスを崩し転倒・転落のおそれがあります。



自動車の助手席及び後部座席に車いすを積み込む際は、確実に固定する。

自動車の運転中に車いすが動き、運転に支障をきたします。

フットレストに乗ったり、立ったりしない。

転倒・転落のおそれがあります。また、車いすが損傷します。

掃除する時などに、タイヤやハンドリムにワックスなどの油分を付けない。

ワックスなどの油分が付くと、タイヤやハンドリムが滑り、十分なスピード調整ができなくなり、衝突や転倒など事故のおそれがあります。

ワックスなどの油分が付いた時には、十分脱脂してください。

雨などでハンドリムが水に濡れた時は、スピードを出さない。

ハンドリムが滑り、十分なスピード調整ができなくなり、衝突や転倒など事故のおそれがあります。水分が付いた時には、乾いた布で十分拭き取ってください。

下り坂などではスピードを出さない。

衝突や転倒などの事故をおこしやすく危険です。

ハンドリムとの摩擦によるやけどに注意し、ハンドリムでスピード調整してください。

急坂などの自操は避ける。

事故のおそれがあります。

介助してもらいましょう。

ブレーキはスピード調整に使用しない。

タイヤがロックし、転倒・転落など事故のおそれがあります。ブレーキは駐停車時専用です。

ハンドリムを使ってスピード調整してください。

悪路・荒地には入らない。

転倒など事故のおそれがあります。また、車いすを損傷させるおそれがあります。この製品を山岳・荒地・砂地・河原・水中・泥地などのオフロードでは使用しないでください。

凹凸の激しいところ（踏切、歩道などの段差や溝）は自操を避ける。

キャスターがはさまったり、車いすを損傷させ、転倒など事故のおそれがあります。

段差の飛び降りなど、乱暴・無理な取扱いをしない。

車いすを損傷させ、転倒など事故のおそれがあります。

ペットを連れて使用しない。

ペットに車いすごと引きずられ、転倒など事故のおそれがあります。

滑りやすいところは、自操を避ける。

降雪時、凍結路、工事用の鉄板やぬかるみ、軌道敷などはスリップしやすく、転倒など事故のおそれがあります。

介助してもらいましょう。



段差の乗越えは手前でいったん停止してから、ゆっくりと乗越える。

速度を落とさず段差を乗降すると、転倒・転落のおそれがあります。また、車いすを損傷させるおそれがあります。

傘をさして使用しない。

レインコート・帽子などを使用してください。レインコートは、ホイールやキャスターに巻込まれる心配のない物をご使用ください。

ブレーキをかけたまま走行しない。

ブレーキを損傷させ、転倒など事故のおそれがあります。
ブレーキを解除してから走行しましょう。

未使用時の車いすに乳幼児を近づけない。

車いすを倒して下敷きになったり、ケガのおそれがあります。

運動機能が低下するもの（アルコールや風邪薬など）を摂取した時は自操しない。

転倒・転落など事故のおそれがあります。

ウイリー（キャスター上げ）は十分熟練するまで一人でやらない。

転倒のおそれがあります。

ハンドリム以外の回転部（タイヤ、スポークなど）に手を触れない。

手を巻き込まれるおそれがあります。

バックレストにバッグなどを取付ける場合、中身を入れすぎない。

後方へ転倒のおそれがあります。

エスカレーターは使用しない。

転倒・転落など事故のおそれがあります。

点検・整備をする。

点検・整備を怠ると、故障や事故などのおそれがあります。
日常の点検・整備、及び1か月に1回、各部の点検・整備をしてください。

走行開始時、また走行中は周囲に気を付ける。

子供などが車いすの回転部・可動部に手などはさむおそれがあります。

身体の状態に適したクッションを使用して車いすに着座する。

^{じよくそう}褥瘡になるおそれがあります。

自動車の座席として使用しない。

車いすに移乗したまま、自動車の座席として車いすを固定して使用すると、車いすが破損し事故のおそれがあります。
自動車の座席、またはそれに耐えられる車いすに乘換えてください。



警告

移乗時・停車時・未使用時は、ブレーキをかける。

車いすが動き出して落下、転倒・転落など事故のおそれがあります。
少しの間の停車・駐車でも必ず、ブレーキをかけてください。

道路交通法上車いすは歩行者です。歩道を通りましょう。



注意

素足で使用しない。

ケガのおそれがあります。
靴下をはき、底のある履き物をはいて使用してください。

タイヤをにぎって走行しない。

タイヤとサイドレザー、ブレーキ、アームレストの間に指をはさむおそれがあります。
手動走行時は、ハンドリムを使って走行してください。

屋外に放置しない。

気象変化や気温変化により、車いすが著しく劣化します。
必ず屋内に保管してください。

シートパイプをにぎって車いすを開かない。(P.15)

フレームとシートパイプの間に指をはさみ、ケガのおそれがあります。

サイドレザーと回転部(タイヤ、スポークなど)を接触させない。

サイドレザーが損傷します。
クッションの種類、サイズによっては、サイドレザーと回転部が接触するおそれがありますので、
接触しないものを使用してください。

貴重品は車いすのポケットに入れない。

紛失・盗難のおそれがあります。

面ファスナーは確実に貼付ける。

固定力が低下して調整状態が変わります。また、A面(オス)が露出していると着衣を傷めるおそれがあります。

面ファスナーに付着した、ほこり・砂・糸くずなどは取除く。

固定力が低下して調整状態が変わります。

走行時に回転部・可動部には触れさせない。

介助者がホイールなどに巻き込まれるおそれがあります。

<安全に介助されるために>



アームレストが確実にボルト固定状態であることを確認する。

介助時にアームレストが抜け、転倒・転落など事故のおそれがあります。

介助時には必ずアームレストの固定状態を確認してください。

また、着脱式アームレスト・はね上げ式アームレストの場合は、アームレストを持って介助しないでください。

持つ位置を指定する。(P.21)

転倒・転落など事故のおそれがあります。また、介助者がケガをするおそれがあります。

介助者がメインホイールの装着を行ったときは、必ずプッシュロッドが完全に戻っていることを自ら確認する。

ホイールが外れ、転倒など事故のおそれがあります。

この取扱説明書を読んでいない方が、ホイールの着脱や車いすの開閉などの介助をする場合は、あなたがその都度説明してください。

総 説

ここでは、基本的な操作方法と、お手入れや保管方法及び調整・点検について説明しています。

基本的な操作方法

お手入れについて

保管について

調整・点検について

調整可能な箇所



基本的な操作方法

- 車いすのシート部にクッションを敷き、クッションに着座してください。
- 足はフットレストに乗せてください。
- 走行する時は、ハンドリムを手動で回転させて走行します。
- 停止する時は、ハンドリムの回転を手で止めて停止します。
- 移乗する時は、必ずブレーキをかけてください。

お手入れについて

- こまめに清掃することをお勧めします。
こまめに清掃することにより、車いすの異常を早期に発見することにもつながります。

※有機溶剤を含んだ油汚れ取りは、使用しないでください。
塗装面が、はがれるおそれがあります。

保管について

- 必ず屋内で保管してください。
- 長期間ご使用にならない場合は、タイヤを接地させないようにして、タイヤの空気を抜いて保管してください。
- 再びご使用の際は、点検・整備をしてください。

調整・点検について

- この車いすには、各所に調整機構を備えています。あなたの状態に合わせて各所の調整を行ってください。
- 調整作業上、ホイールを外した方が作業しやすい場合があります。作業に合わせてホイールの脱着を行ってください。
- 最適な姿勢で使用できるように、各部の調整を行ってください。
- 調整作業に不安がある場合は、ご自分では調整しないで、販売店に依頼してください。
- 日常の点検・整備を行ってください。
- 1 か月に 1 回を目安にして、定期点検を行ってください。

調整可能な箇所

- この車いすは、次の箇所に調整機構があります。
 - ☐ ブレーキ：効き具合・前後位置
 - ☐ バックレスト：高さ・角度（ZZR）・バックレザーの張り
 - ☐ フットレスト：長さ・角度（フットプレート）
 - ☐ 車軸：トー角（キャンバー付エキセントリックカラー装着車）・ホイール取付け間隔・後座高（LX, LR, FX, FR, リアサスペンション装着車を除く）・車軸前後位置（エキセントリックカラー装着車）
 - ☐ キャスター：前座高（LX, LR, FX, FR を除く）・トレッド（LX, LR, FX, FR, を除く）

車いすに乗る前に

ここでは、この車いすの基本的な機能について説明しています。ご使用になる前に次の各説明を必ずお読みください。

車いすの折りたたみ（FX・FRを除く）

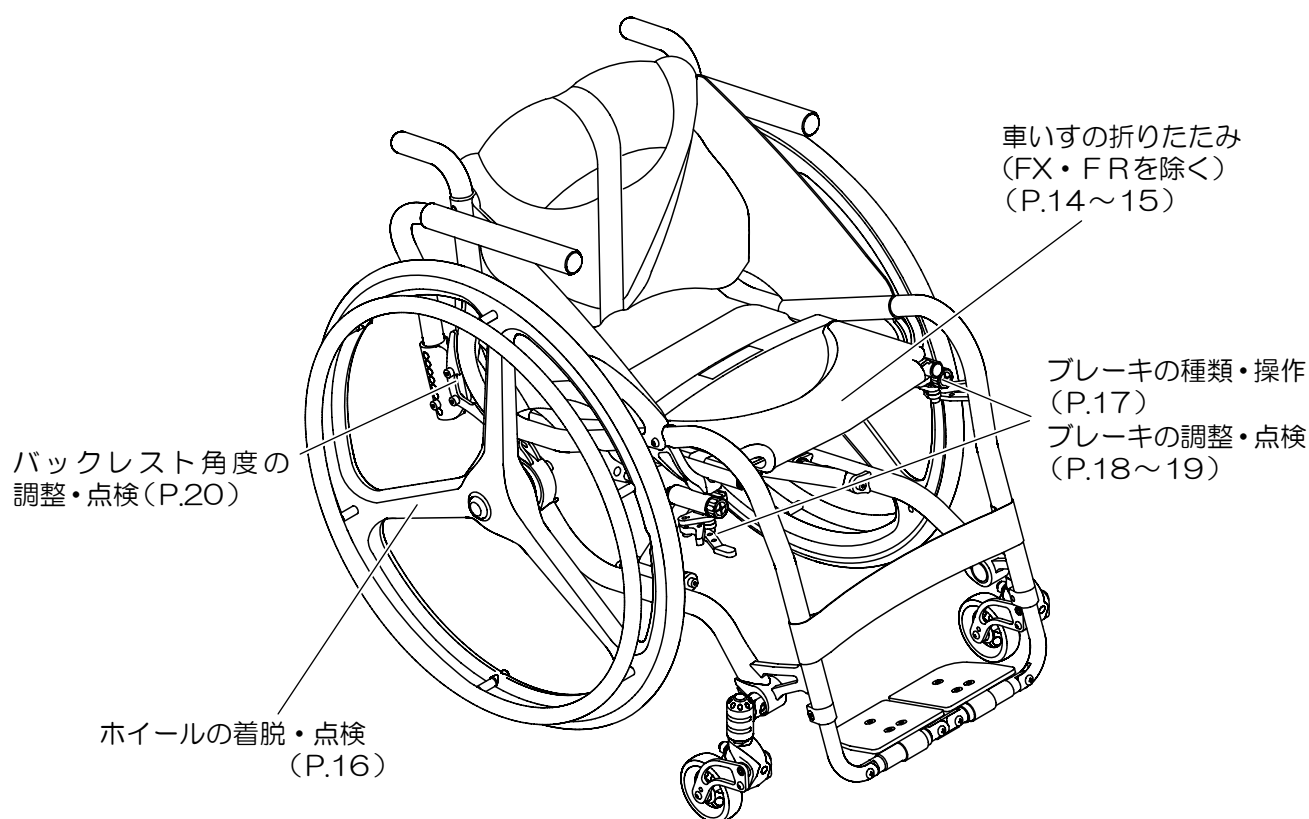
ホイールの着脱・点検

ブレーキの種類・操作

ブレーキの調整・点検

バックレスト角度の調整・点検

乗車・安全な介助



車いすの折りたたみ（ F X ・ F R を除く ）

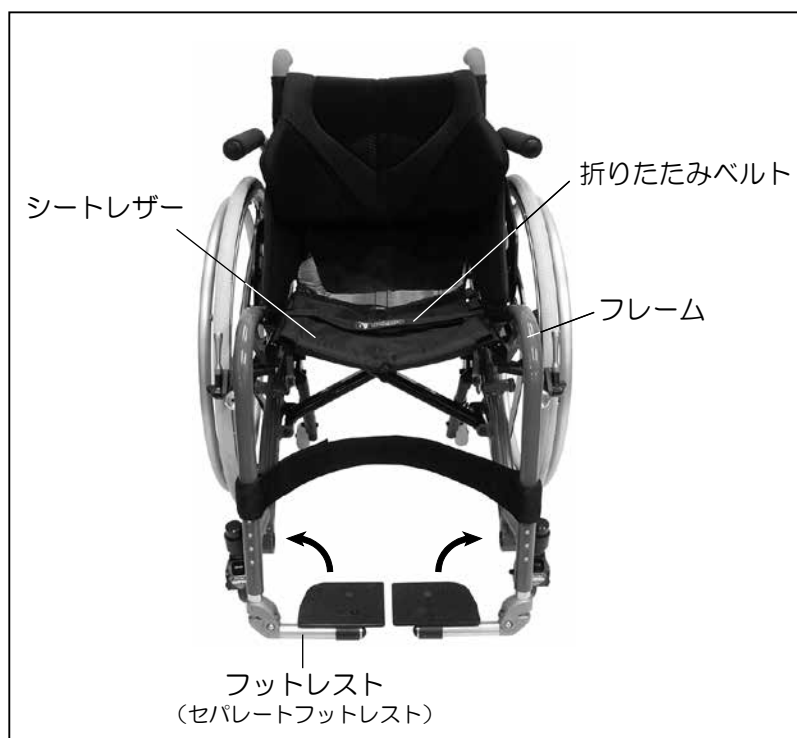
＜ 折りたたむ ＞ 【図 1-1】 【図 1-2】 【図 1-3】 【図 1-4】

- 1) セパレートフットレストの場合は、左右のフットレストを折り上げる。【図 1-2】
- 2) 折りたたみベルト中央部を、上に引き上げる。【図 1-3】
- 3) シートパイプ先端部の左右を合わせて折りたたむ。【図 1-4】

⚠ 注意

折りたたみベルトで、車いすを持ち上げない。

* 車いすの重さで折りたたみベルトが外れ、事故のおそれがあります。



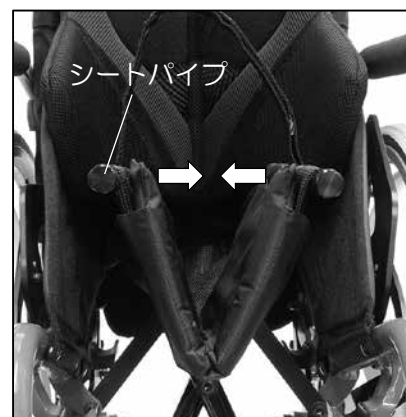
【図 1-1】



【図 1-2】



【図 1-3】



【図 1-4】

車いすの折りたたみ（ F X ・ F R を除く ）

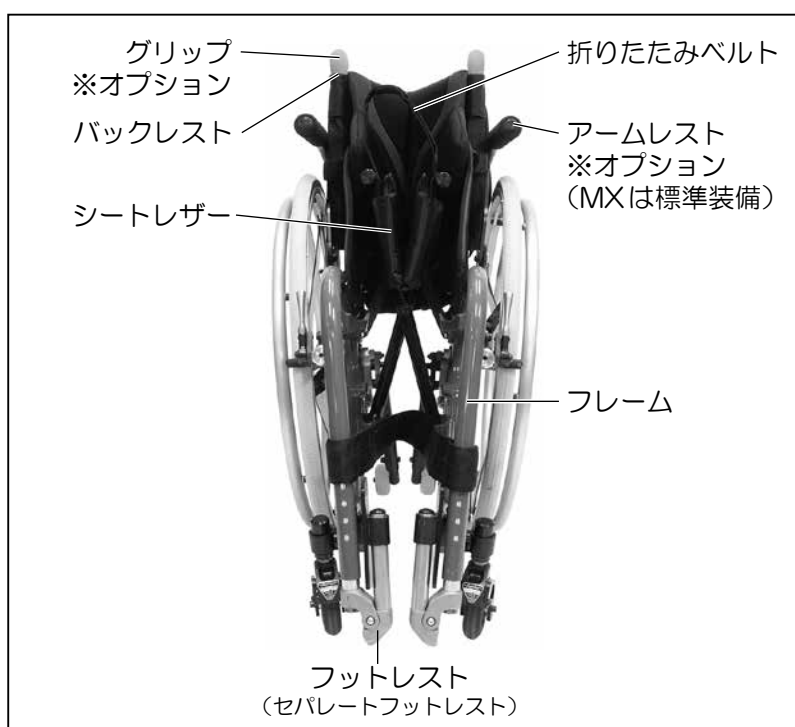
＜開く＞【図 1-5】【図 1-6】【図 1-7】

- 1) フレームを持って少し開く。
- 2) 片手でバックレスト（グリップ）またはアームレストを押さえながら、手をはさまないように注意して、もう一方の手でシートパイプを押し広げ、シートパイプが「受け」に確実にハマるまで広げる。【図 1-6】
- 3) セパレートフットレストの場合は、左右のフットレストを下げる。【図 1-7】

⚠注意

シートパイプをにぎって操作しない。

*シートパイプとフレームの間に手や指をはさみ、ケガをするおそれがあります。



【図 1-5】



【図 1-6】



【図 1-7】

ホイールの着脱・点検 （「DS3」は別紙取扱説明書を参照してください）

＜ホイールの取外し＞【図1-8】

- 1) ブレーキを「解除」する。（P.17）
- 2) ホイール中心部のプッシュロッドを押しながら、ホイール（ハブ）を手前に引く。

＜ホイールの取付け＞【図1-8】

- 1) ブレーキを「解除」の状態にする。（P.17）
- 2) ホイール中心部のプッシュロッドを押しながら、ホイールシャフトを軸穴に差し込む。
- 3) 確実に軸穴に差し込まれ、プッシュロッドが【図1-8】の「○」の状態であることを確認する。

＜ホイールの点検＞【図1-8】

- ・装着時にプッシュロッドが戻らないなどの異常がないかを確認する。
 - *異常がある場合には使用を止め、販売店または当社までご相談ください。
- ・タイヤの減り具合、空気圧を見る。
 - *タイヤから布地が少しでも見えたら交換してください。
 - *タイヤの空気圧はP.54を参照してください。

▲警告

乗車中は、プッシュロッドに触れない。

*乗車中にホイールが外れ、転倒など事故のおそれがあります。

▲警告

フランジボルトの中心からプッシュロッドが十分突き出していることを確認する。

*確実に固定されていないとホイールが外れ、転倒など事故のおそれがあります。

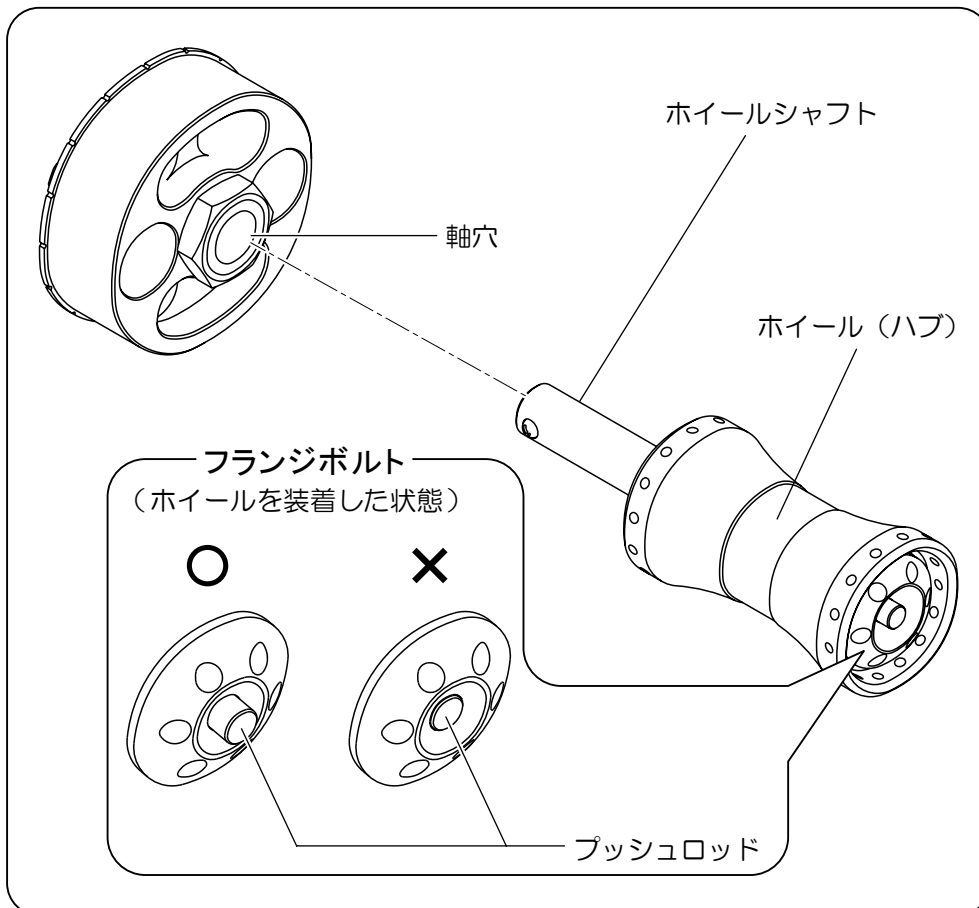
*プッシュロッドが戻らないなどの異常がある場合には、車いすの使用を止めて販売店にご相談ください。

▲警告

ホイールシャフトや軸穴は精密加工されているので、傷を付けない。

*傷が付くとホイールシャフトが入らなかったり、入りにくくなったりして危険です。

*ホイールシャフトが入らなかったり、入りにくなるなどの異常がある場合は、車いすの使用を止めて販売店にご相談ください。



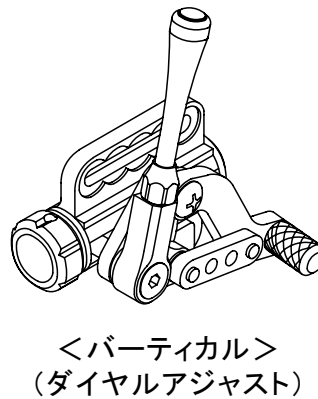
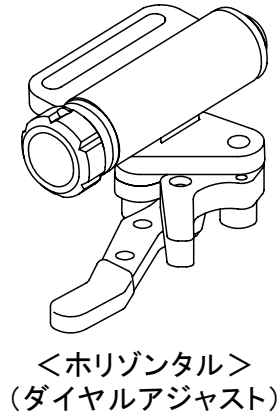
【図1-8】

ブレーキの種類・操作

ブレーキの種類には次の2つがあります。ご自分の車いすに装着されているブレーキをご確認の上、「ブレーキの種類・操作」「ブレーキの調整・点検」をお読みください。

<アジャスタブルブレーキ>【図1-9】

ダイヤル操作によるブレーキ位置の微調整が可能です。



【図1-9】

<ブレーキのかけ方>【図1-10】

- 1) 左右のブレーキレバーを後方(タイヤ側)にロックするまで引く。
- 2) 車いすが動かないことを確認する。
*ブレーキをかけた状態で、車いすが動く場合やブレーキが固くてかけられない場合は、「ブレーキの調整・点検」(P.18～19)を行ってください。

⚠警告

ブレーキをかけた状態で、車いすが動かないことを確認する。

*転倒・転落のおそれがあります。

*「ブレーキの調整・点検」(P.18～19)をこまめに行いブレーキの効き具合を最適に保ってください。

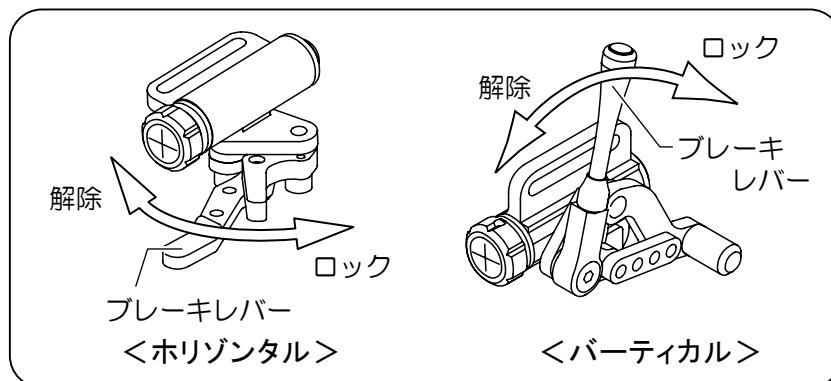
<ブレーキの解除>【図1-10】

- 1) 左右のブレーキレバーを前方(進行方向)に押す。
- 2) ブレーキが完全に解除されたことを確認する。

⚠警告

ブレーキは、スピード調整に使用しない。

*タイヤがロックし、転倒など事故のおそれがあります。ブレーキは駐停車時専用です。



【図1-10】

⚠注意

ブレーキの解除をする時はブレーキレバーを最後まで戻す。

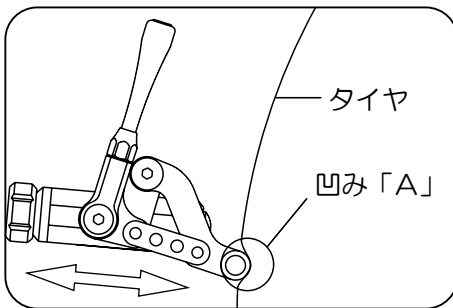
*タイヤとブレーキの隙間に指をはさむおそれがあります。

ブレーキの調整・点検

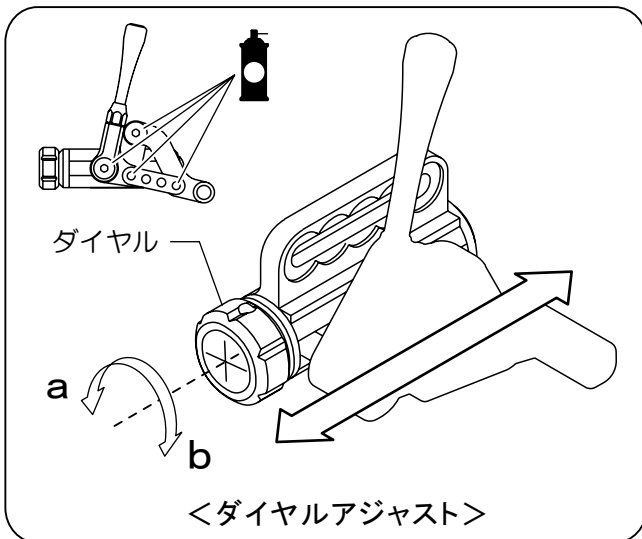
「水平」「垂直」のどちらもタイヤの空気圧が適正な状態（P.54）で、ブレーキをかけた時のタイヤの凹み「A」【図1-11】が3～5mmになるように調整してください。

＜ダイヤルアジャストの調整＞【図1-11】【図1-12】

- 1) ブレーキを解除する。（P.17）
- 2) ダイヤルを回して調整する。
 - aの方向（反時計回り）
タイヤの凹みを増やし、ブレーキの効きを強くする。
 - bの方向（時計回り）
タイヤの凹みを減らし、ブレーキの効きを弱くする。
- 3) 左右同様に調整する。



【図1-11】



【図1-12】

⚠警告

ブレーキの効きは必要以上に強くしない。

*ブレーキが破損し、転倒・転落など事故のおそれがあります。

⚠警告

注油は、ブレーキとタイヤの接触する箇所には行わない。

*ブレーキが効かず転倒・転落のおそれがあります。油分が付着してしまったときは、十分に脱脂してください。

ブレーキの調整・点検

＜ステア取付け位置の調節＞【図1-13】

車軸前後位置の調整やホイールサイズの変更を行うと、ダイヤルによる微調整では調整しきれない場合があります。このような場合はブレーキ本体もしくは、ブレーキステアの取付け位置を移動してください。

※下図は一例です。ご自分の車いすに装着されているブレーキの部品構成をよく確認した上で調節してください。

＜ブレーキの点検＞

毎日乗車前にブレーキの効き、ボルト・ナット類の緩み、脱落がないか点検してください。

ボルト締付けトルク 10N・m

警告

ボルトを締めるときにワッシャーが確実に、加工溝に収まっていることを確認する。

*ブレーキが外れ、衝突、転倒・転落など事故のおそれがあります。

*ブレーキにガタつきや異常な動きなどを見つけたら増し締めを行ってください。増し締めを行っても異常があるときは、車いすの使用を止め、販売店にご相談ください。

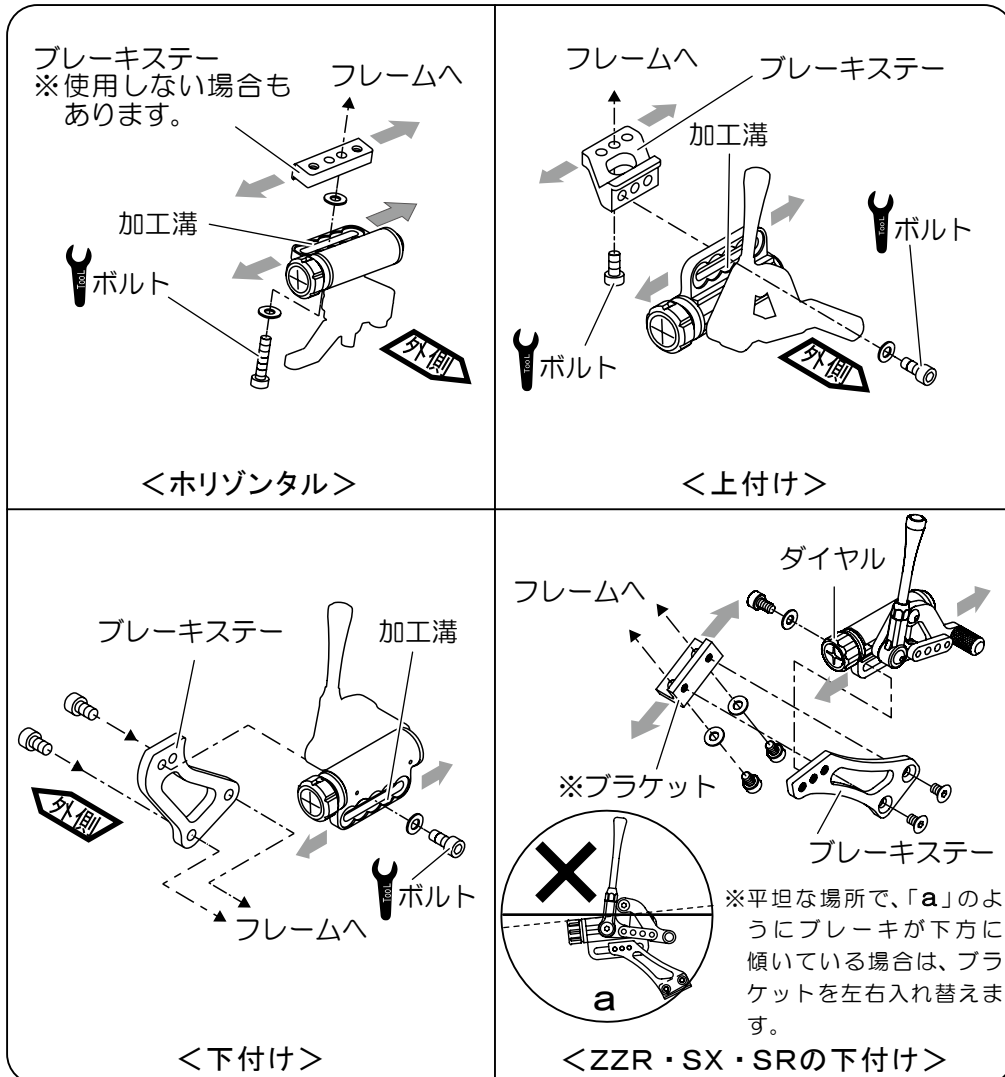
警告

ZZR・SX・SRの下付けブレーキは、下方に傾いた状態で使用しない。

*ブレーキが不意に解除して事故のおそれがあります。

*前座高・後座高やホイール径の変更後は、必ず確認してください。

調節可能部位



【図1-13】

バックレスト角度の調整・点検

＜バックレストの角度調整（ZZR）＞【図1-14】

- 1) アウターレザーを取外す。（P.31）
- 2) サイドレザー後部の面ファスナーとベルトをはがす。（P.33）
- 3) ①ボルト、②カラー（外側・内側）を取外す。
- 4) 取外した②カラー（外側・内側）を回転させて、最適な角度になるように取付ける。
※②カラーは、外側と内側の矢印が同じ向きになるように取付けてください。
- 5) バックレストパイプの調節穴が、②カラーの固定穴に合うようにバックレストの角度を調節し、①ボルトを締付ける。
- 6) 左右同様に調整する。
- 7) サイドレザー後部の面ファスナー及びベルトを最適な張りになるように貼付ける。（P.33）
- 8) アウターレザーを取付ける。（P.31）

⚠注意

必ず左右のバックレスト角度は同じ角度にする。

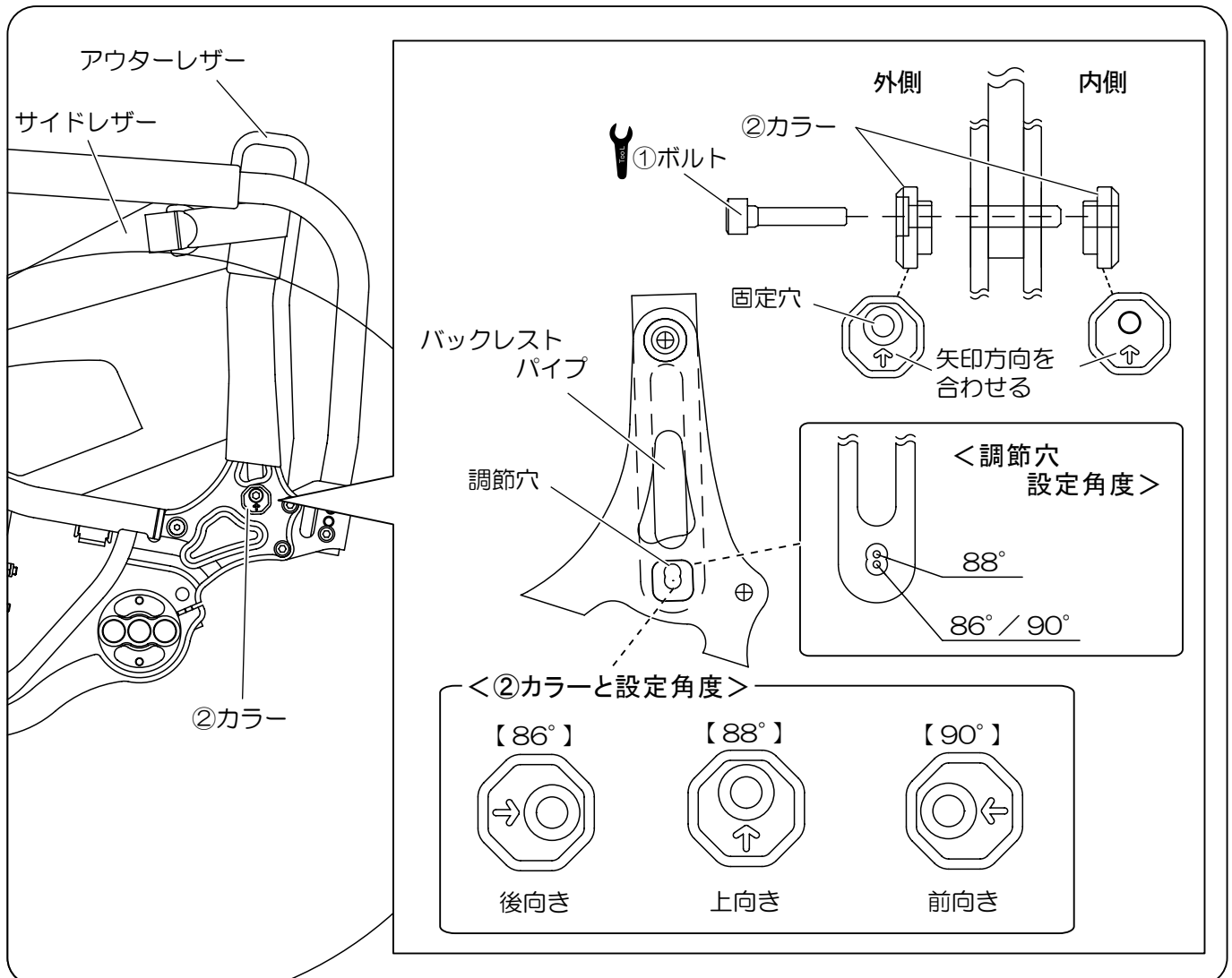
*バックレストに負荷がかかり車いすが破損するおそれがあります。

⚠注意

サイドレザーは、たるまないように貼付ける。

*ホイールへの干渉や、巻き込みのおそれがあります。

①ボルト締付けトルク 10N・m



【図1-14】

乗車・安全な介助

＜乗車姿勢＞

車いすのシート部にクッションを敷き、着座してください。
足はフットレストに乗せてください。
最適な姿勢で使用できるように、「各部の調整・点検」(P.23～P.55)を行ってください。

＜安全な介助のために＞【図1-15】

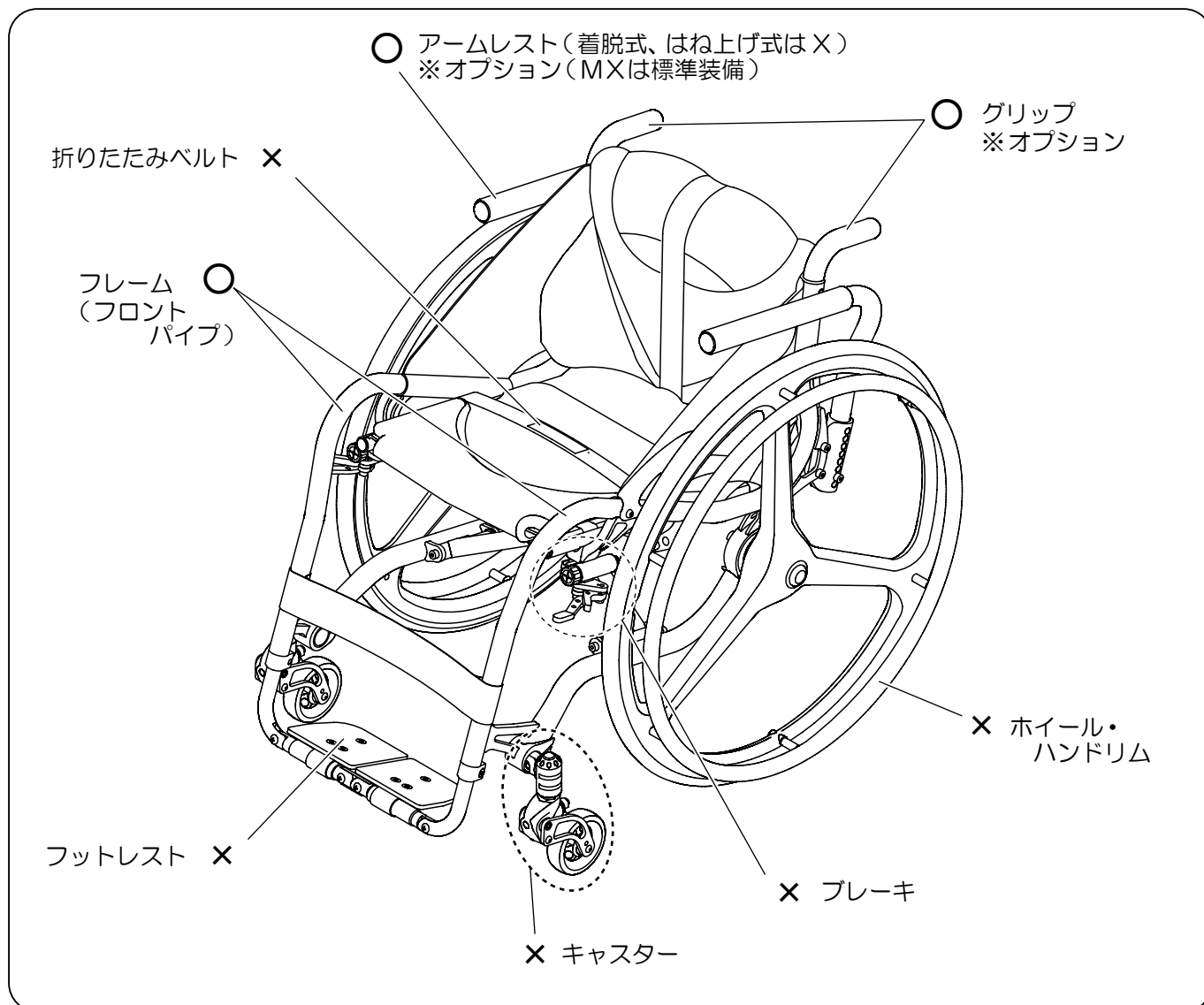
介助を受ける際には、車いすを持つ箇所を介助者に指示してください。
下図に示す×印の箇所は非常に危険です。

▲警告

車いすを持ち上げるときは必ず○印の箇所を指定する。

*○印以外の箇所を持つと部品が外れたり、破損したりして落下、転落・転倒のおそれがあります。

*車いすの介助に不慣れな方が、ホイールや着脱可能な状態のアームレストを持つことがあります。非常に危険です。あなたが安全な箇所を指定してください。



【図1-15】

各部の調整・点検

ここでは、各部の調整・点検について説明しています。

フットレストの調整・点検

バックレスト及びレザー類の調整・点検

車軸位置の調整・点検

キャストターの調整・点検

アームレストの調整・点検

その他の調整・点検

日常・定期点検

アームレストの調整・点検 (P.51)
※オプション

フットレストの調整・点検
(P.24～30)

バックレスト及びレザー類の
調整・点検 (P.31～39)

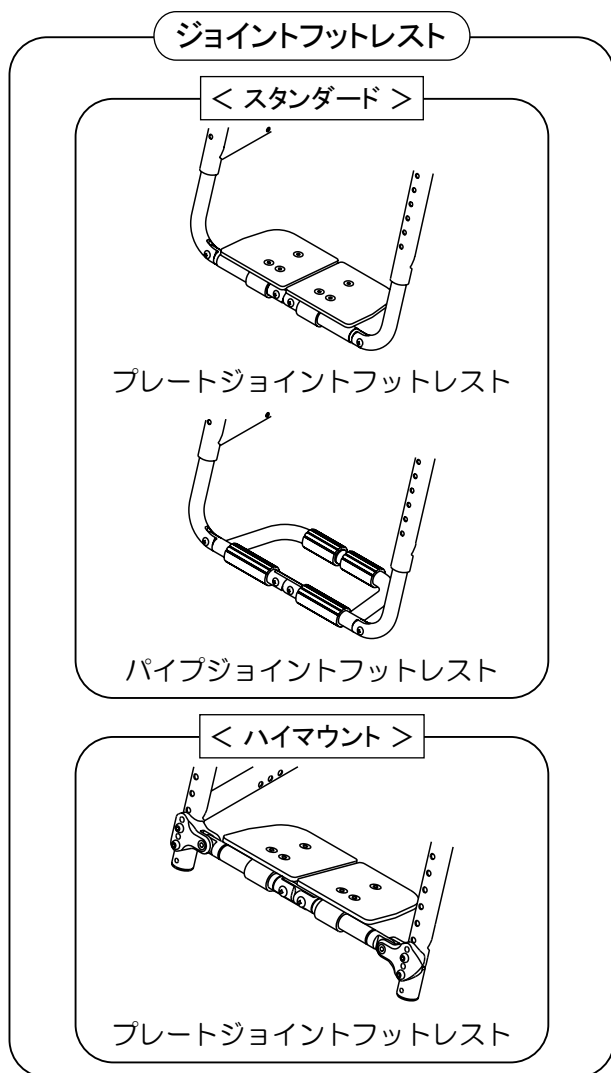
車軸位置の調整・点検
(P.40～46)

キャストターの調整・点検 (P.47～50)

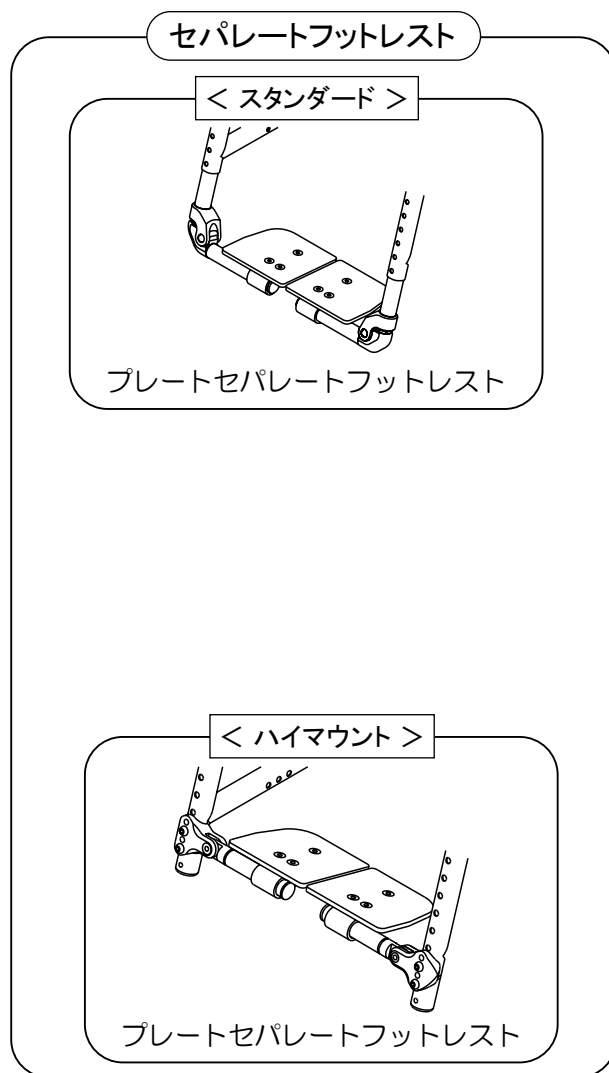
フットレストの調整・点検

<フットレストの種類>【図2-1】【図2-2】【図2-3】

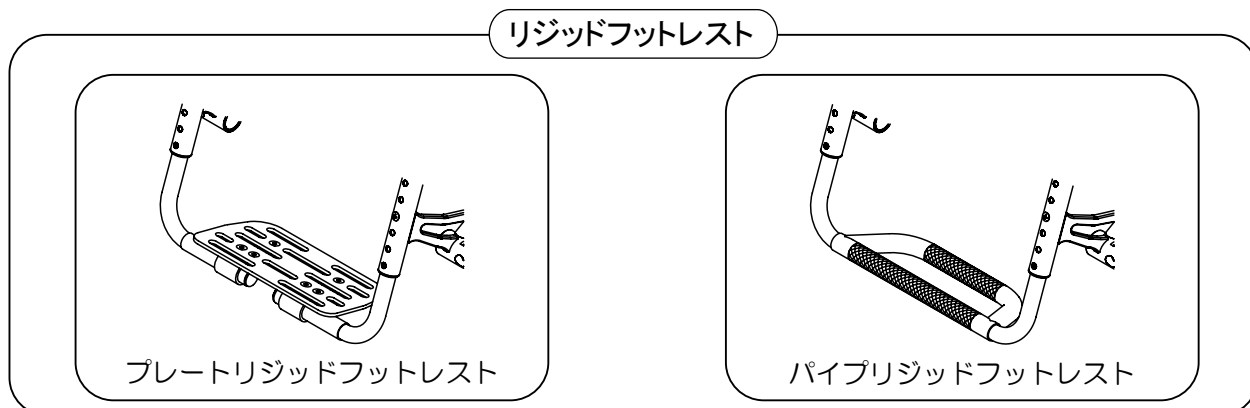
フットレストにはいくつかのタイプがあります。ご自分の車いすに装着されているフットレストをご確認の上「フットレストの調整・点検」をお読みください。



【図2-1】



【図2-2】



【図2-3】

フットレストの調整・点検

＜フットレスト長の調節（スタンダード）＞【図2-4】

車いすのシートに使用するクッションを敷き、着座して最適なフットレスト長に調節してください。

- 1) レッグベルトを外す。(P.53)
- 2) 左右の取付けネジ(ボルト)を外す。
- 3) フットレストロッドバーを上下にスライドさせ、最適な位置に合わせる。
- 4) 左右同じ位置に合わせ、取付けネジ(ボルト)を締付ける。
- 5) フットレストから足が後方に落ちないように、レッグベルトの張りを調整して取付ける。(P.53)

取付けネジ締付けトルク 6N・m
取付けボルト締付けトルク 8N・m

⚠警告

フットレストと地面の間隔を十分確保する。

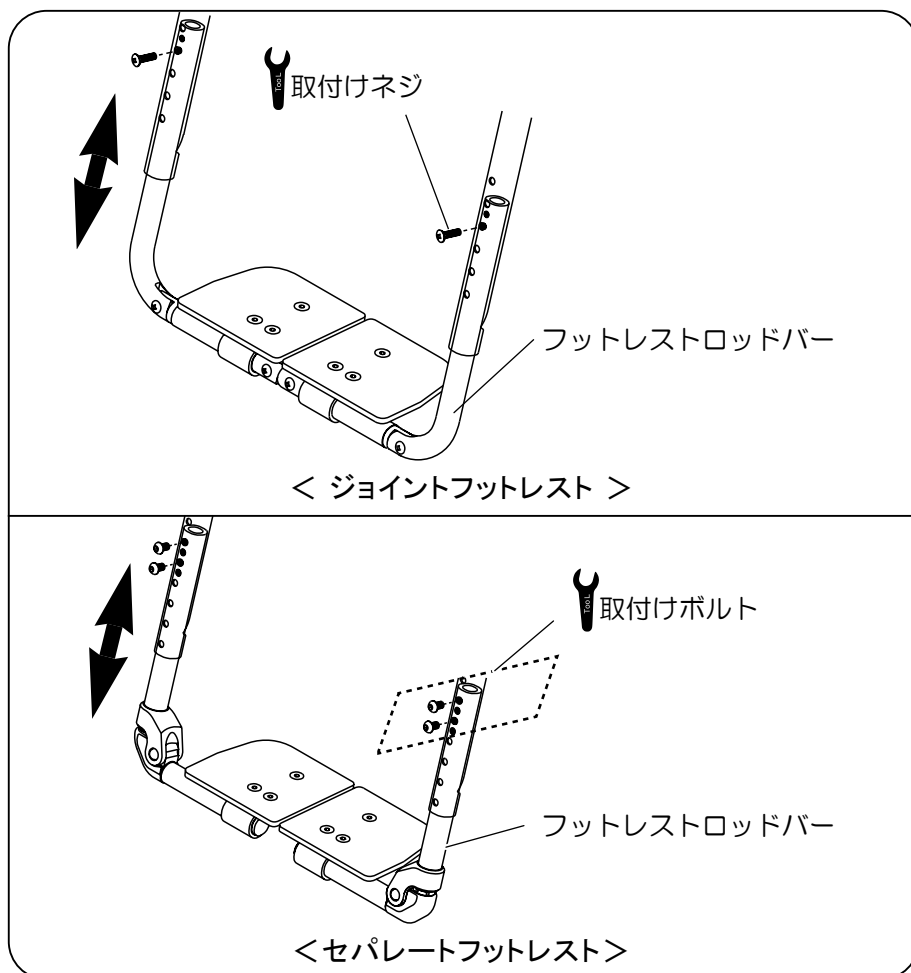
* 段差や石などに当り転倒・転落のおそれがあります。
また、車いすが破損します。

⚠注意

ジョイントタイプのフットレストは、左右同じ長さに調整する。

* 車いすが破損するおそれがあります。

* 左右のフットレスト長の確認は、車いすを折りたたんだ状態で、フットレストロッドバー下端の位置を確認してください。



【図2-4】

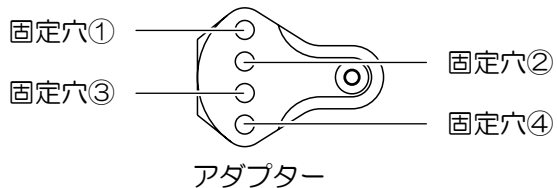
フットレストの調整・点検

＜フットレスト長の調節（ハイマウント）＞【図2-5】【図2-6】

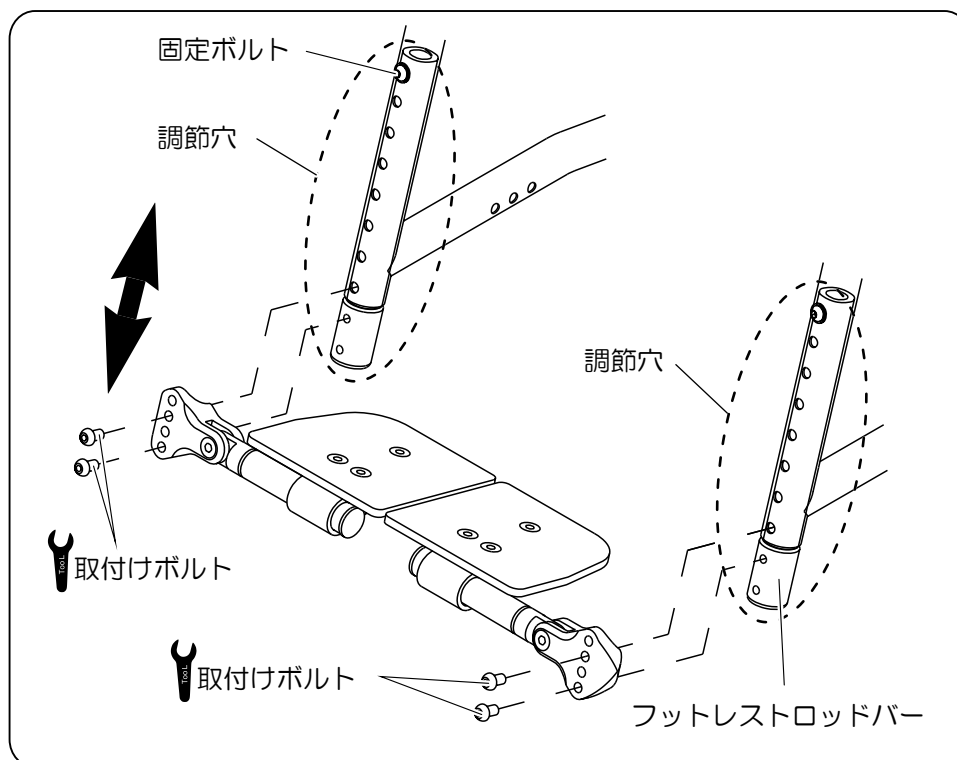
車いすのシート部に使用するクッションを敷き、着座して最適なフットレスト長に調節してください。

- 1) レッグベルトを外す。(P.53)
- 2) 左右各 2 本の取付けボルトを外す。
- 3) アダプターの固定穴①と③、または②と④に取付けボルトを差込み、最適な位置の調節穴に合わせて取付ける。
※固定ボルトが邪魔になる場合は、固定ボルトの位置を変えてください。
- 4) 左右各 2 本の取付けボルトで締付ける。
- 5) フットレストから足が後方に落ちないように、レッグベルトの張りを調整して取付ける。(P.53)

取付けボルト締付けトルク 8N・m



【図2-5】



【図2-6】

⚠警告

フットレストと地面の間隔を十分確保する。

* 段差や石などに当り転倒・転落のおそれがあります。
また、車いすが破損します。

⚠警告

必ず取付けボルト 2 本で固定する。

* 固定力が低下し、ケガや車いすの破損のおそれがあります。
必ず取付けボルト2本で固定するようにしてください。

⚠注意

ジョイントタイプのフットレストは、左右同じ長さに調節する。

* 車いすが破損するおそれがあります。

* 左右のフットレスト長の確認は、車いすを折りたたんだ状態で、アダプターの位置を確認してください。

フットレストの調整・点検

＜ハイマウントフットレストの調節可能範囲＞

【図2-7】【図2-8】【図2-9】

ハイマウントフットレストの調節可能範囲は、次の通りです。

最上位置：アダプターの固定穴②と調節穴①及び、固定穴④と調節穴②が重なる位置【図2-8】

最下位置：アダプターの固定穴①と調節穴⑨及び、固定穴③と調節穴⑩が重なる位置【図2-9】

※固定ボルトが邪魔になる場合は、固定ボルトの位置を変えてください。

⚠警告

フットレストと地面の間隔を十分確保する。

* 段差や石などに当り転倒・転落のおそれがあります。
また、車いすが破損します。

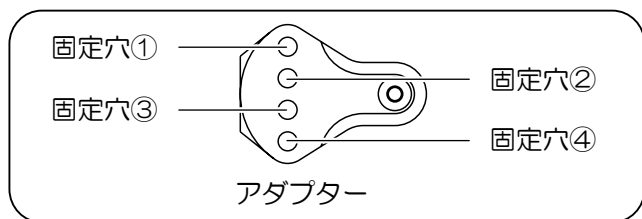
⚠注意

ジョイントタイプのフットレストは、左右同じ長さに調節する。

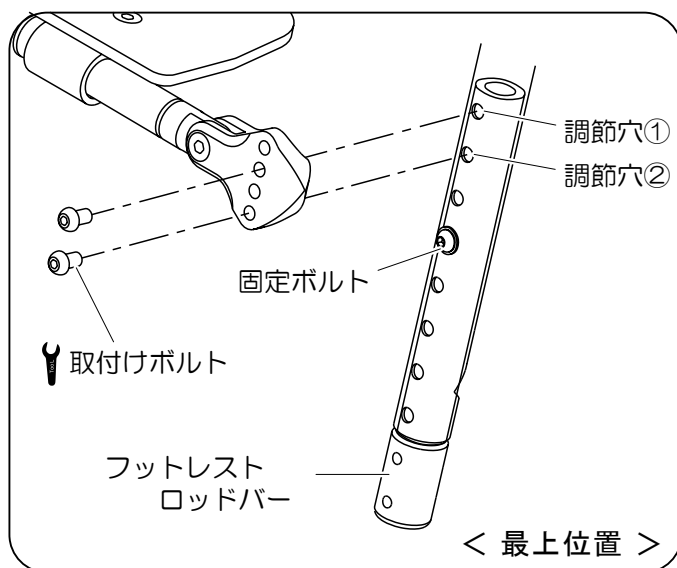
* 車いすが破損するおそれがあります。

* 左右のフットレスト長の確認は、車いすを折りたたんだ状態で、アダプターの位置を確認してください。

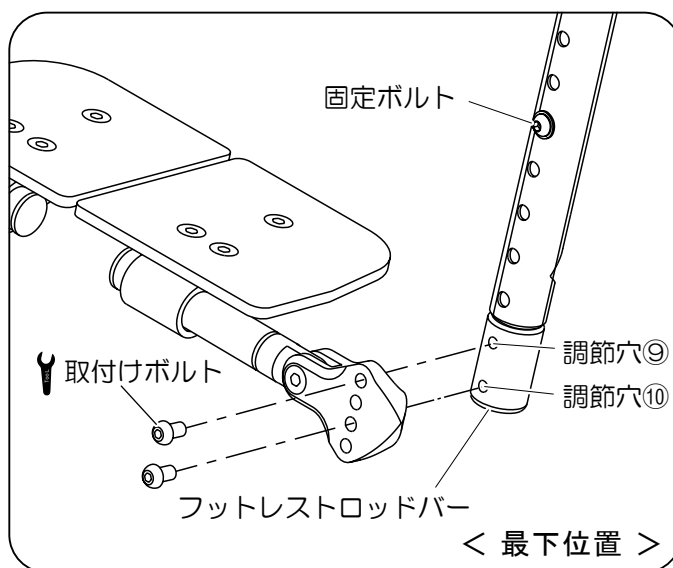
取付けボルト締付けトルク 8N・m



【図2-7】



【図2-8】



【図2-9】

フットレストの調整・点検

＜フットプレートの角度調整＞【図2-10】【図2-11】【図2-12】

- 1) ①②ボルトを緩める。
- 2) フットプレートを最適な角度にする。【図2-12】
- 3) ①②ボルトを交互に繰り返し締め直す。
※交互に繰り返し締めないと確実に締まりません。
- 4) 左右同様にする。
- 5) フットプレートと地面の間隔が、十分確保できているか確認する。
- 6) 車いすを折りたたみ、左右のフットプレート同士が接触していないか、またフレームに接触していないか確認する。
(FX・FRを除く)

⚠警告

フットレストと地面の間隔を十分確保する。

* 段差や石などに当り転倒・転落のおそれがあります。
また、車いすが破損します。

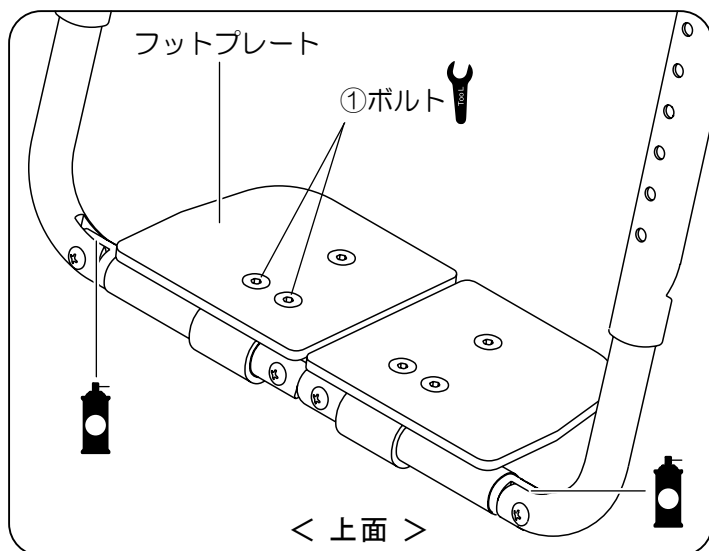
⚠注意

車いすを折りたたんだ状態で、フレームや左右のフットプレート同士が接触していないか確認する。

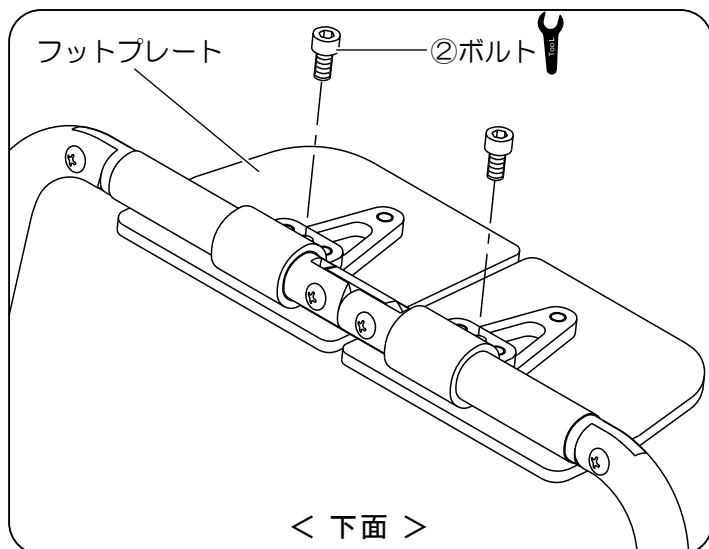
* 車いすが破損するおそれがあります。

* 調整後は必ず確認してください。

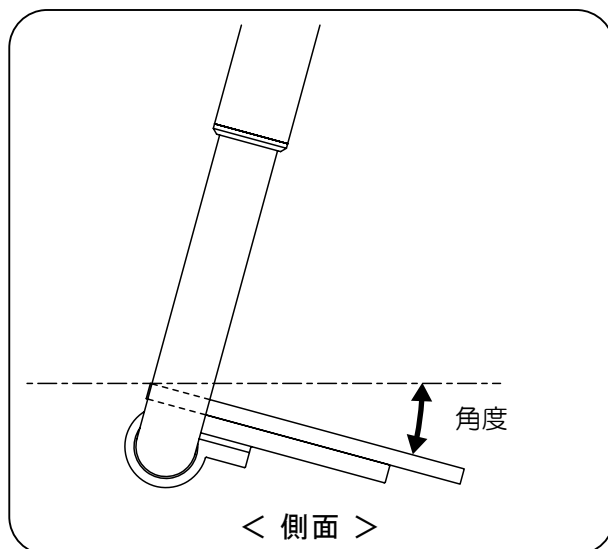
- ①ボルト締め付けトルク 8N・m
②ボルト締め付けトルク 8N・m



【図2-10】



【図2-11】



【図2-12】

フットレストの調整・点検

＜セパレートフットレスト（スタンダード）の角度修正＞

【図2-13】【図2-14】

セパレートフットレストは、フットレストアンダーパイプの角度を最適な状態に修正することができます。

- 1) フットレストを折り上げる。
- 2) フットレストロッドバー下端の固定ボルトを外す。
- 3) フットレストを広げた際に最適な角度になるよう調整ボルトを合わせる。【図2-14】
- 4) 調整ボルト側面のレンチかけに、六角レンチ(2mm)などを差込む。
- 5) 調整ボルトが動かないよう六角レンチ(2mm)などを支持しながら固定ボルトを締付ける。
- 6) 左右同様にする。

固定ボルト締付けトルク 8N・m

⚠注意

調整ボルトを緩めすぎない。

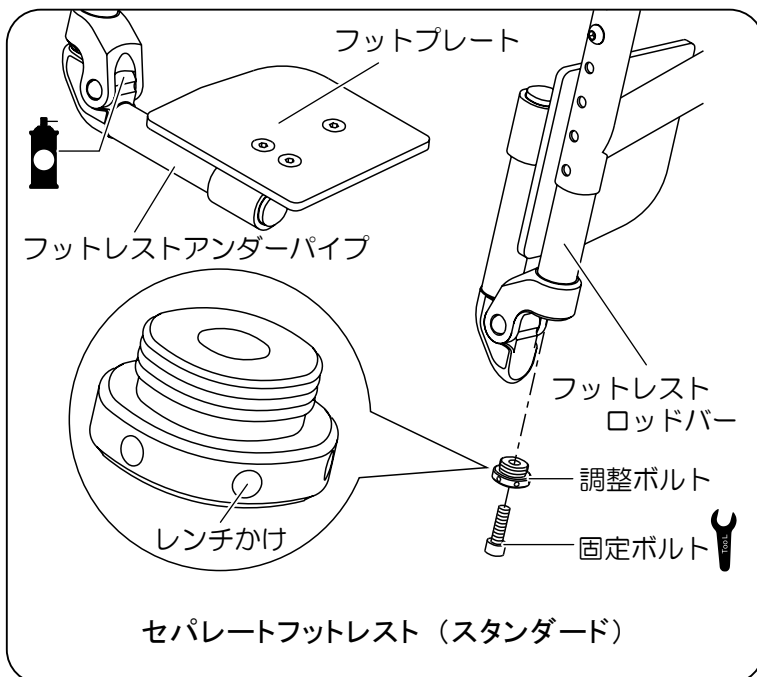
*フットレストが破損します。

*フットレストアンダーパイプがフットレストロッドバーに対して90°になるように調整してください。

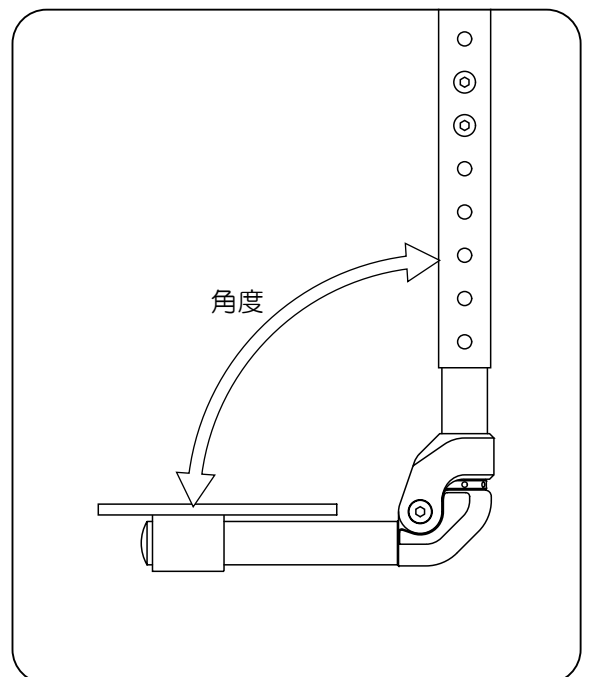
⚠注意

フットレストを折りたたむ際に、手をはさまないように注意する。

*フットプレートとフットレストロッドバーやフレームに、手や指をはさまないようにゆっくりとたんでください。



【図2-13】



【図2-14】

フットレストの調整・点検

＜セパレートフットレスト（ハイマウント）の角度修正＞

【図2-15】【図2-16】

セパレートフットレストは、フットレストアンダーパイプの角度を最適な状態に修正することができます。

- 1) フットレストを折り上げる。
- 2) フットレストアンダーパイプ下端の調整ボルトを回して最適な角度に調整する。【図2-16】
- 3) 左右同様にする。

⚠注意

調整ボルトを緩めすぎない。

*フットレストが破損します。

*フットレストアンダーパイプがフットレストロッドバーに対して90°になるように調整してください。

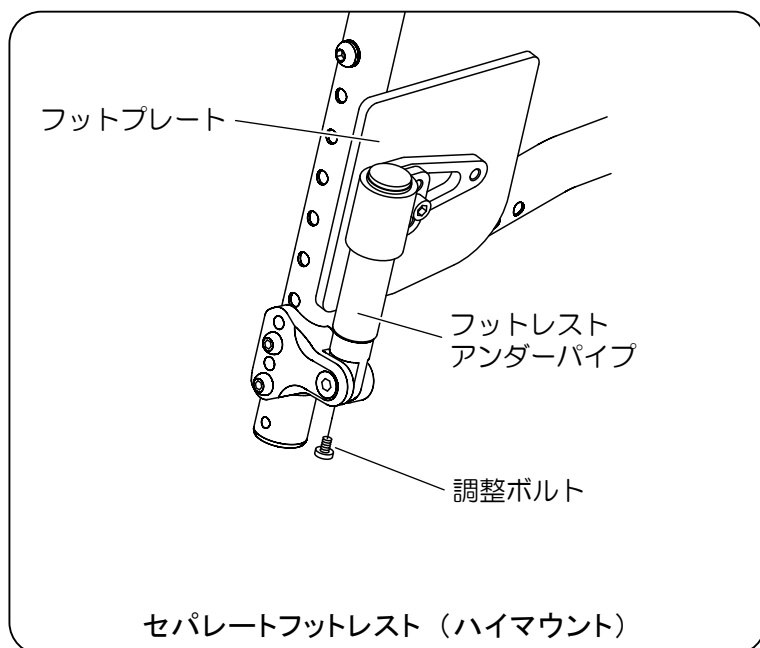
＜フットレストの点検＞

- ・フットプレートにひび割れはないか。
- ・ネジ・ボルトの緩みはないか。

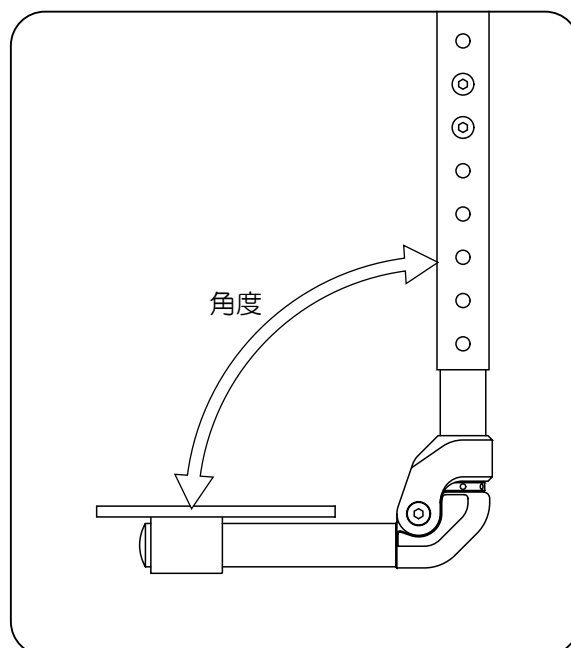
⚠注意

フットレストを折りたたむ際に、手をはさまないように注意する。

*フットプレートとフットレストロッドバーやフレームに、手や指をはさまないようにゆっくりとたたんでください。



【図2-15】



【図2-16】

バックレスト及びレザー類の調整・点検

＜アウターレザーの取外し＞【図2-17】

アウターレザー前面下部から矢印の方向に面ファスナーをはがしていき、後方もそのままはがします。

＜アウターレザーの取付け＞【図2-17】

アウターレザー前面下部が最適な高さになる位置にし、矢印の方向に面ファスナーを貼付けていきます。ポケットが、車いす後方の上部にくるようにアウターレザーを取付けてください。



【図2-17】

⚠注意

アウターレザーは、内蔵スポンジの弾力が無くなってきたら交換する。

* 背中や腰に褥瘡^{じょくそう}などができるおそれがあります。

* スポンジのみの交換はできません。

⚠注意

面ファスナーは確実に貼付ける。

* 固定力が低下して調整状態が変わってしまいます。

⚠注意

面ファスナーに付着したほこりや糸くずなどは取除く。

* 固定力が低下して調整状態が変わってしまいます。

⚠注意

乗車時に面ファスナーのA面（オス）が、着衣に触れないように取付ける。

* 着衣を傷める恐れがあります。

バックレスト及びレザー類の調整・点検

＜ヒップレザーの取外し＞【図2-18】

- 1) アウターレザーを取外す。(P.31)
- 2) カバーシートレザーの後方2か所の面ファスナーをはがす。
(FX・FRを除く)
- 3) ヒップレザーのバックレスト側の面ファスナーをはがす。
- 4) ヒップレザーのシート側の面ファスナーをはがす。

⚠注意

ヒップレザーの張りは乗車姿勢に影響するので正しく調整する。

＜ヒップレザーの取付け＞【図2-18】

- ヒップレザーには向きがあります。取付けの際は注意してください。
- 1) ヒップレザーのシート側の面ファスナーを貼付ける。
 - 2) ヒップレザーを最適な乗車姿勢になるように調整して、バックレスト側の面ファスナーを貼付ける。
 - 3) カバーシートレザーの面ファスナーを貼付ける。
(FX・FRを除く)
 - 4) アウターレザーを取付ける。(P.31)

⚠注意

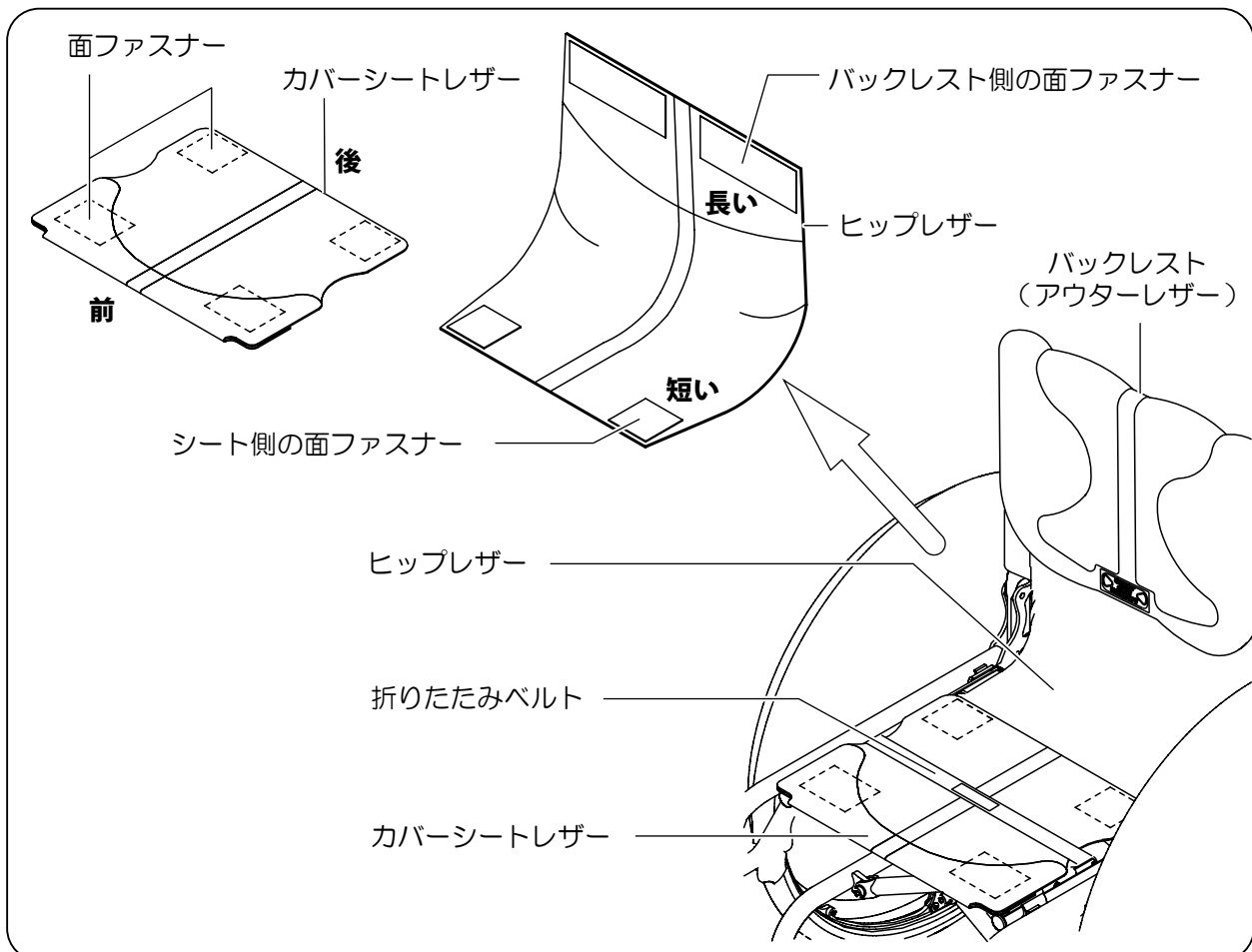
面ファスナーは確実に貼付ける。

* 固定力が低下して調整状態が変わってしまいます。

⚠注意

面ファスナーに付着したほこりや糸くずなどは取除く。

* 固定力が低下して調整状態が変わってしまいます。



【図2-18】

バックレスト及びレザー類の調節・点検

＜サイドレザーの取外し（ZZR・GWXⅢ・SX・

MX・LX）＞【図2-19】【図2-20】

- 1) アウターレザーとヒップレザーを取外す。（P.31・32）
- 2) サイドレザーの面ファスナーをはがす。
- 3) ベルトの面ファスナーをはがす。
- 4) 車いすを少し折りたたんだ状態にする。
- 5) 全てのプッシュリベットを取外す。
- 6) サイドレザーからレールを引抜く。

⚠注意

ホイールを回転させて、サイドレザーとタイヤ、スポークが接触しないことを確認する。

＊サイドレザーが破損するおそれがあります。

＜サイドレザーの取付け（ZZR・GWXⅢ・SX・

MX・LX）＞【図2-19】【図2-20】

- 1) 車いすを少し折りたたんだ状態にする。
- 2) サイドレザーとレールの穴が合うようにレールを差込む。
- 3) 全てのプッシュリベットをサイドレザーの穴に差込み、フレームに取付ける。
- 4) 車いすを開いた状態にする。
- 5) サイドレザーを適切な張りと角度にしながら、面ファスナーをバックレスト後部に貼付ける。
- 6) ベルトを適切な張りと角度にしながら、面ファスナーをバックレスト後部に貼付ける。
- 7) アウターレザーとヒップレザーを取付ける。（P.31・32）

⚠注意

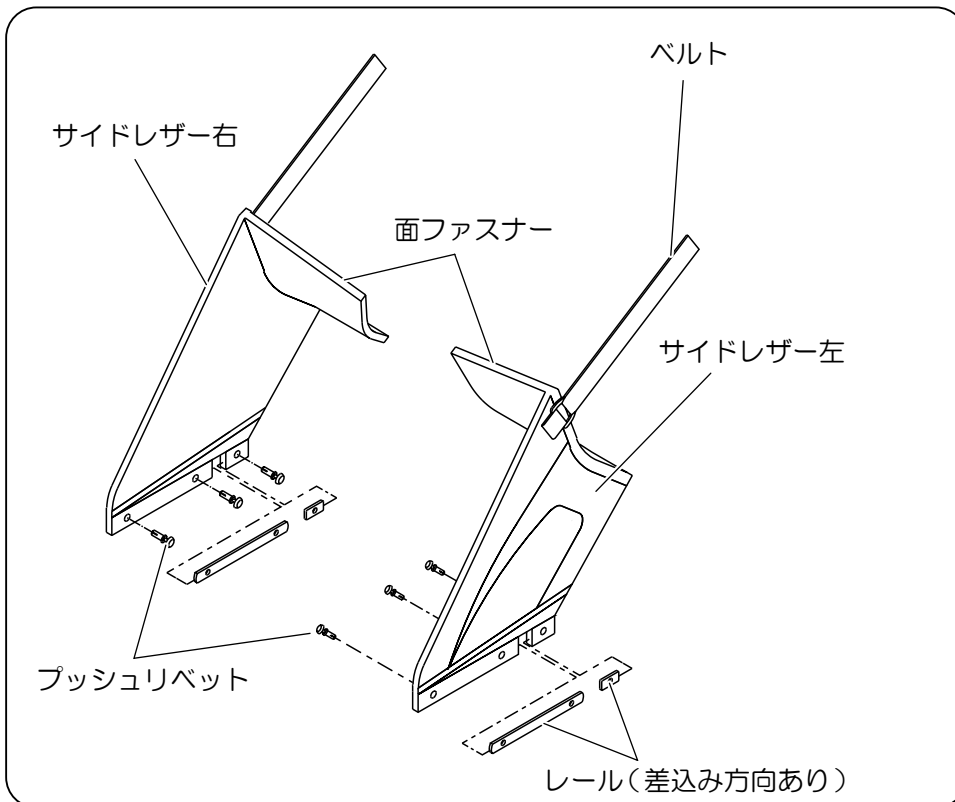
面ファスナーは確実に貼付ける。

＊固定力が低下して調整状態が変わってしまいます。

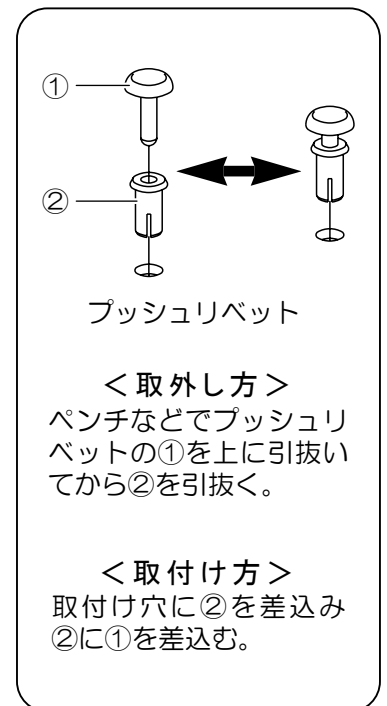
⚠注意

面ファスナーに付着したほこりや糸くずなどは取除く。

＊固定力が低下して調整状態が変わってしまいます。



【図2-19】



【図2-20】

バックレスト及びレザー類の調節・点検

＜サイドレザースの取外し（FX）＞【図2-21】

- 1) アウターレザーとヒップレザーを取外す。（P.31・32）
- 2) バックレスト後部から①面ファスナーをはがす。
- 3) バックレスト後部からベルトの面ファスナーをはがす。
- 4) シートレザーの②面ファスナーからサイドレザースの③面ファスナーを取外す。

⚠注意

ホイールを回転させて、サイドレザースとタイヤ、スポークが接触しないことを確認する。

* サイドレザースが破損するおそれがあります。

＜サイドレザースの取付け（FX）＞【図2-21】

- 1) シートレザーの②面ファスナーにサイドレザースの③面ファスナーを図のようにサイドプレートが隠れる位置に貼付ける。
- 2) サイドレザースを適切な張りと角度にしながら、サイドレザースの①面ファスナーをバックレスト後部に貼付ける。
- 3) ベルトを適切な張りと角度にしながら、バックレスト後部に貼付ける。
- 4) アウターレザーとヒップレザーを取付ける。（P.31・32）

⚠注意

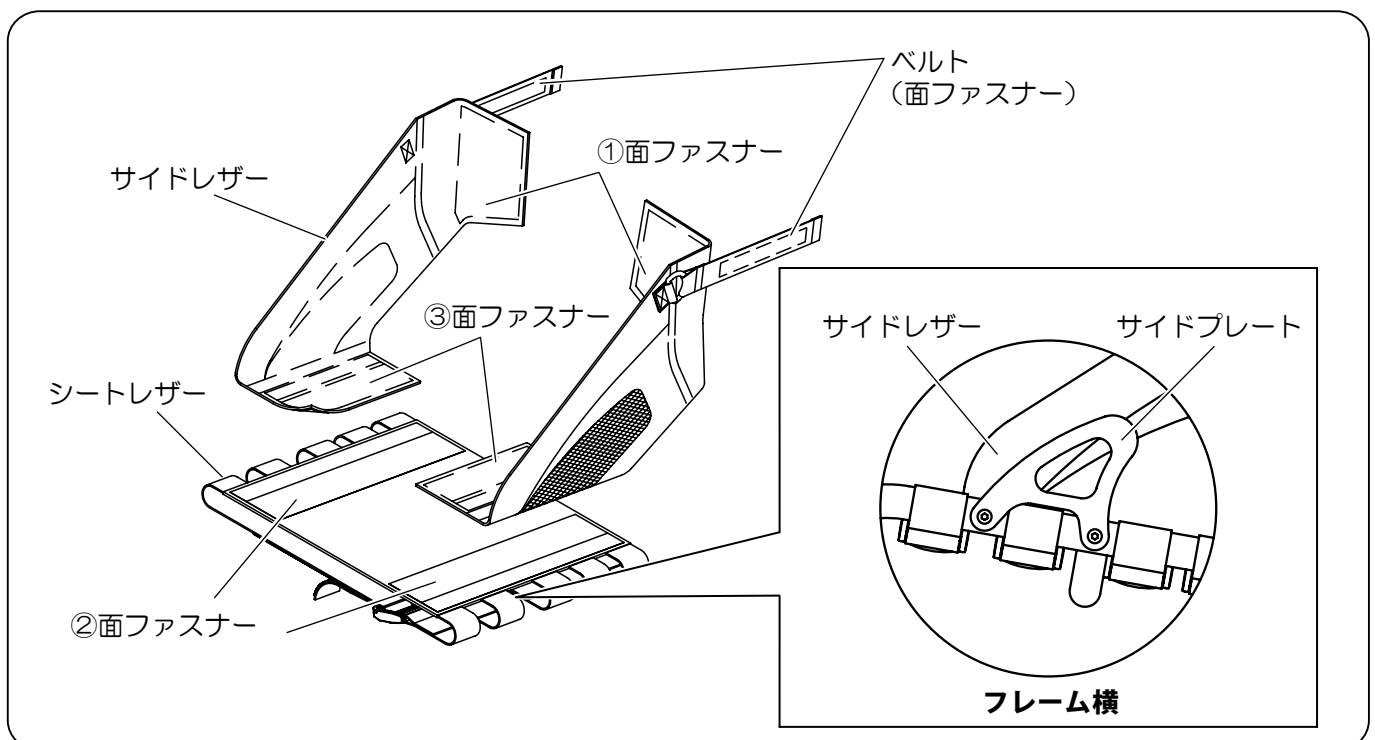
面ファスナーは確実に貼付ける。

* 固定力が低下して調整状態が変わってしまいます。

⚠注意

面ファスナーに付着したほこりや糸くずなどは取除く。

* 固定力が低下して調整状態が変わってしまいます。



【図2-21】

バックレスト及びレザー類の調整・点検

＜サイドガードの取外し（ZZR・GWXⅢ）＞【図2-22】

- 1) アウターレザーとヒップレザーを取外す。（P.31・32）
- 2) ベルトの面ファスナーをはがす。
- 3) ボルト、ワッシャーを取外す。

⚠注意

ホイールを回転させて、サイドガードとタイヤ、スポークが接触しないことを確認する。

* サイドガードが破損するおそれがあります。

＜サイドガードの取付け（ZZR・GWXⅢ）＞【図2-22】

- 1) サイドガードをボルト、ワッシャーで固定する。
- 2) サイドガードが、タイヤ、ホイールに接触しないようベルトの面ファスナーを最適な位置に貼付ける。
- 3) アウターレザーとヒップレザーを取付ける。（P.31・32）

⚠注意

面ファスナーは確実に貼付ける。

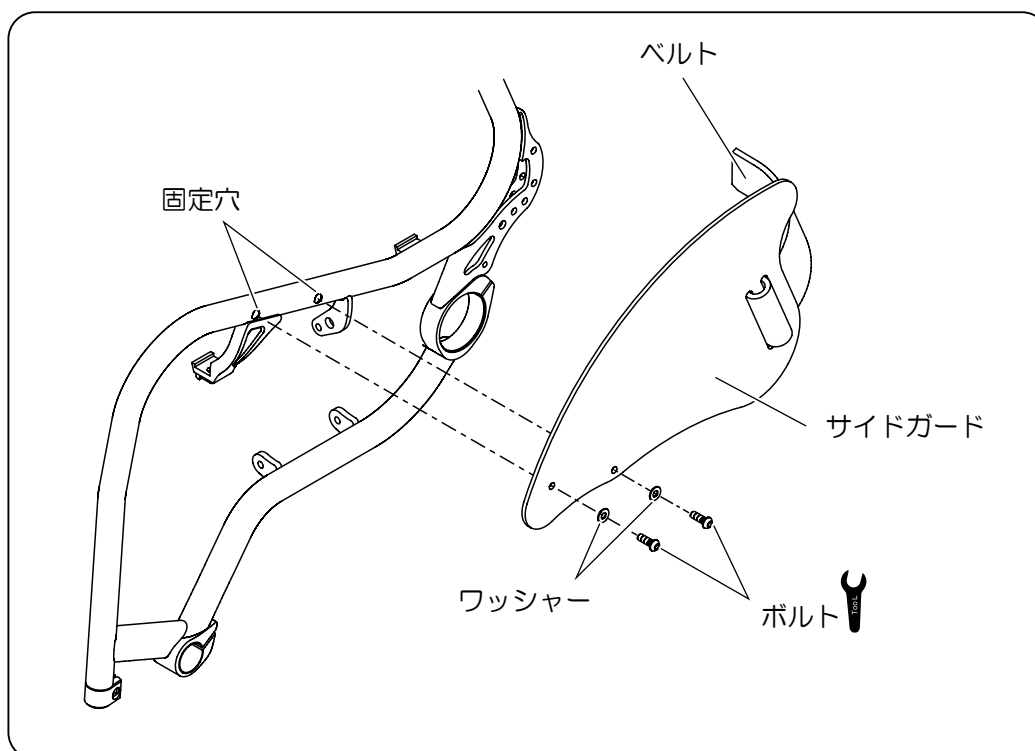
* 固定力が低下して調整状態が変わってしまいます。

ボルト締付けトルク（ZZR） 8N・m
ボルト締付けトルク（GWXⅢ） 10N・m

⚠注意

面ファスナーに付着したほこりや糸くずなどは取除く。

* 固定力が低下して調整状態が変わってしまいます。



【図2-22】

バックレスト及びレザー類の調整・点検

＜インナーレザーの調整＞【図2-23】

- 1) アウターレザーとヒップレザーを取外す。(P.31・32)
- 2) サイドレザーの面ファスナーとベルト、又はサイドガードのベルトをはがす。(P.33・34・35)
- 3) インナーレザー上下各部のベルトを最適な張りに調整する。
- 4) センターパッドを背骨が当たる位置に移動する。
- 5) サイドレザーの面ファスナーとベルト、又はサイドガードのベルトを貼付ける。(P.33・34・35)
- 6) アウターレザーと、ヒップレザーを取付ける。(P.31・32)

⚠注意

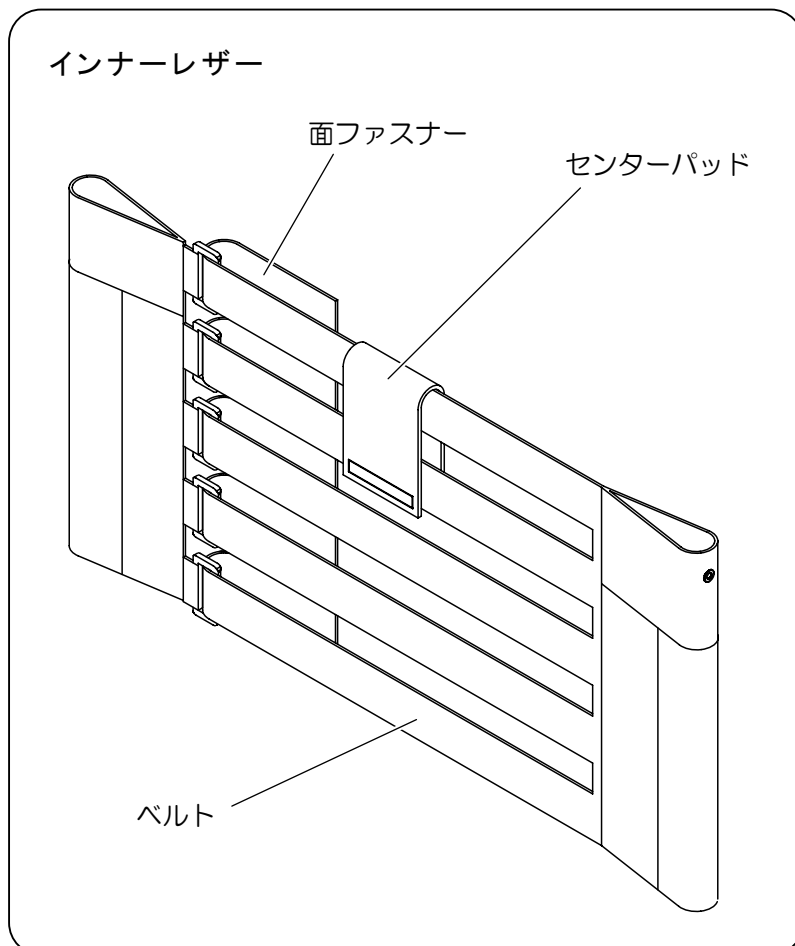
面ファスナーは確実に貼付ける。

* 固定力が低下して調整状態が変わってしまいます。

⚠注意

面ファスナーに付着したほこりや糸くずなどは取除く。

* 固定力が低下して調整状態が変わってしまいます。



【図2-23】

⚠注意

インナーレザーの張り調整は「張り過ぎ」、「緩め過ぎ」に注意する。

* 車いすが破損するおそれがあります。

* 車いすが開いた状態で、クロスメンバーがフレームの「受け」に収まっていることを確認してください。(P.15)

バックレスト及びレザー類の調整・点検

＜インナーレザーの取外し＞【図2-24】

- 1) アームレスト装着車はアームレストを取外す。(P.51)
- 2) アウターレザー(P.31)とコーナーパッド(グリップ未装着車のみ)を取外す。
- 3) ヒップレザーを取外す。(P.32)
- 4) サイドレザーの面ファスナーとベルト、又はサイドガードのベルトをはがす。(ZZR・GWXⅢ・SX・MX・LX・FXのみ)(P.33・34・35)
- 5) 左右の取付けネジを取外す。
- 6) 左右の「A」の面ファスナーをはがす。
(SR・MR・LR・FRのみ)
- 7) インナーレザーを上引抜く。
※グリップ装着車の場合は、＜バックレスト高の調整・着脱＞(P.38)を参照し、グリップを引抜いた後、インナーレザーを上引抜く。

⚠注意

面ファスナーは確実に貼付ける。

* 固定力が低下して調整状態が変わってしまいます。

⚠注意

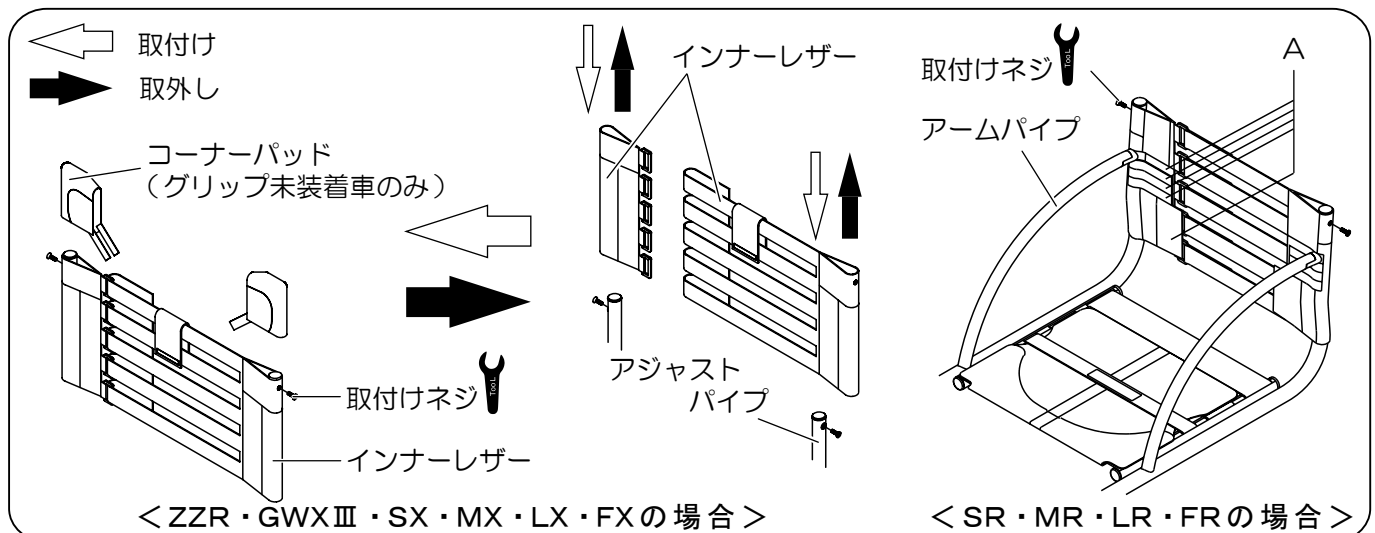
面ファスナーに付着したほこりや糸くずなどは取除く。

* 固定力が低下して調整状態が変わってしまいます。

＜インナーレザーの取付け＞【図2-24】

- 1) バックレストにインナーレザーを差込む。
- 2) インナーレザーの左右を取付けネジでアジャストパイプに固定する。
※グリップ装着車の場合は、＜バックレスト高の調整・着脱＞(P.38)を参照し、グリップの高さを調節した後に行う。
- 3) 左右の「A」の面ファスナーをフレームに巻きつける。
(SR・MR・LR・FRのみ)
※アームパイプの位置に来る「A」の面ファスナーはフレームに巻きつけずに貼付ける。
- 4) ＜インナーレザーの調整＞(P.36)を行う。
- 5) サイドレザー又はサイドガードを取付ける。(ZZR・GWXⅢ・SX・MX・LX・FXのみ)(P.33・34・35)
- 6) ヒップレザーを取付ける。(P.32)
- 7) コーナーパッド(グリップ未装着車のみ)を取付け、アウターレザーを取付ける。(P.31)
- 8) アームレスト装着車はアームレストを取付ける。(P.51)

取付けネジ締付けトルク 4N・m



【図2-24】

バックレスト及びレザー類の調整・点検

＜バックレスト高の調整・着脱＞【図2-25】

オプションの「グリップ」の付いたバックレストも同様の調整方法です。

- 1) アームレスト装着車はアームレストを取外す。(P.51)
- 2) アウターレザーを取外す。(P.31)
- 3) インナーレザーのフラップの面ファスナーをはがす。
- 4) ③ネジを外して、インナーレザーを押し下げ、①ネジ、②ナット、ワッシャーを露出させる。
- 5) ①ネジ、②ナット、ワッシャーを外す。
- 6) アジャストパイプをスライドさせて最適な高さに調節する。
- 7) ①ネジを固定穴と調節穴に通し、②ナット、ワッシャーで締付ける。
- 8) 反対側も同様に同じ高さに調節する。
- 9) ③ネジを取付ける。
- 10) インナーレザーのフラップの面ファスナーを貼付ける。
- 11) アウターレザーを取付ける。(P.31)
- 12) アームレスト装着車はアームレストを取付ける。(P.51)

①ネジ締付けトルク 6N・m
③ネジ締付けトルク 4N・m

⚠注意

左右のバックレスト高は必ず同じにする。

* 車いすが破損するおそれがあります。

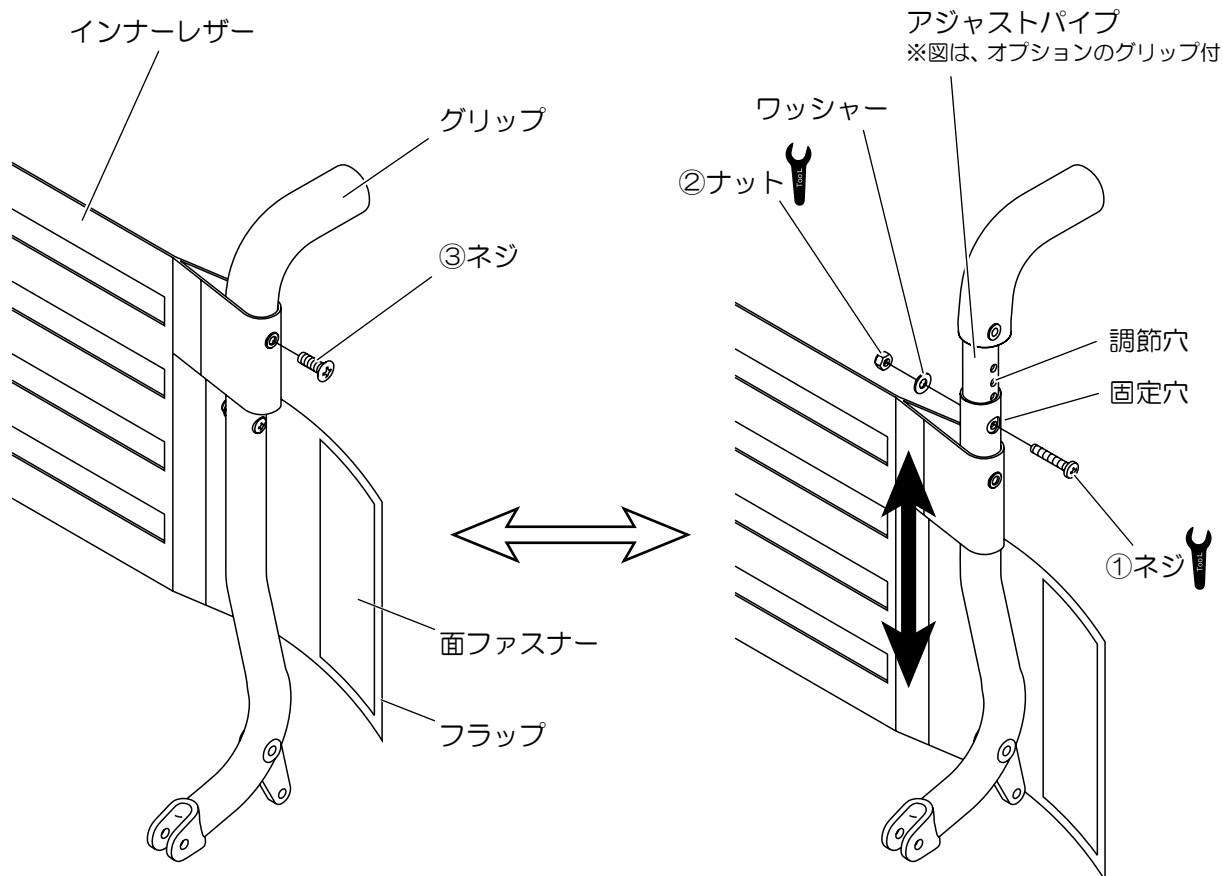
* アジャストパイプの調節穴の位置を左右で合わせてください。

⚠注意

面ファスナーは確実に貼付ける。

* インナーレザーが破損するおそれがあります。

* ベルトの張り^{じょうそう}が適切にならず、褥瘡^{じよくそう}などができるおそれがあります。



【図2-25】

バックレスト及びレザー類の調整・点検

＜シートレザーの張り調整（FX・FRを除く）＞【図2-26】

- 1) カバーシートレザーを取外す。
- 2) ベルト（シートレザー）下側の面ファスナーで、前後各部のベルトと折りたたみベルトの張りを調整する。
- 3) シートパイプが「受け」にしっかりと乗っていることを、確認する。（P.15）
※シートパイプが浮いていると、クロスメンバーの破損につながります。必ず、シートパイプは「受け」に乗せてください。
- 4) ヒップレザーのシート側の面ファスナーをはがし、ベルト（シートレザー）の張りに合わせて貼りなおす。
- 5) カバーシートレザーを折りたたみベルトの下を通して取付ける。

⚠注意

シートレザーの、張り調整は、「張り過ぎ」「緩め過ぎ」に注意する。

*車いすが破損するおそれがあります。

*フレームなど硬い部分^{じよくそう}が身体に接触し、褥瘡^{じよくそう}などができるおそれがあります。

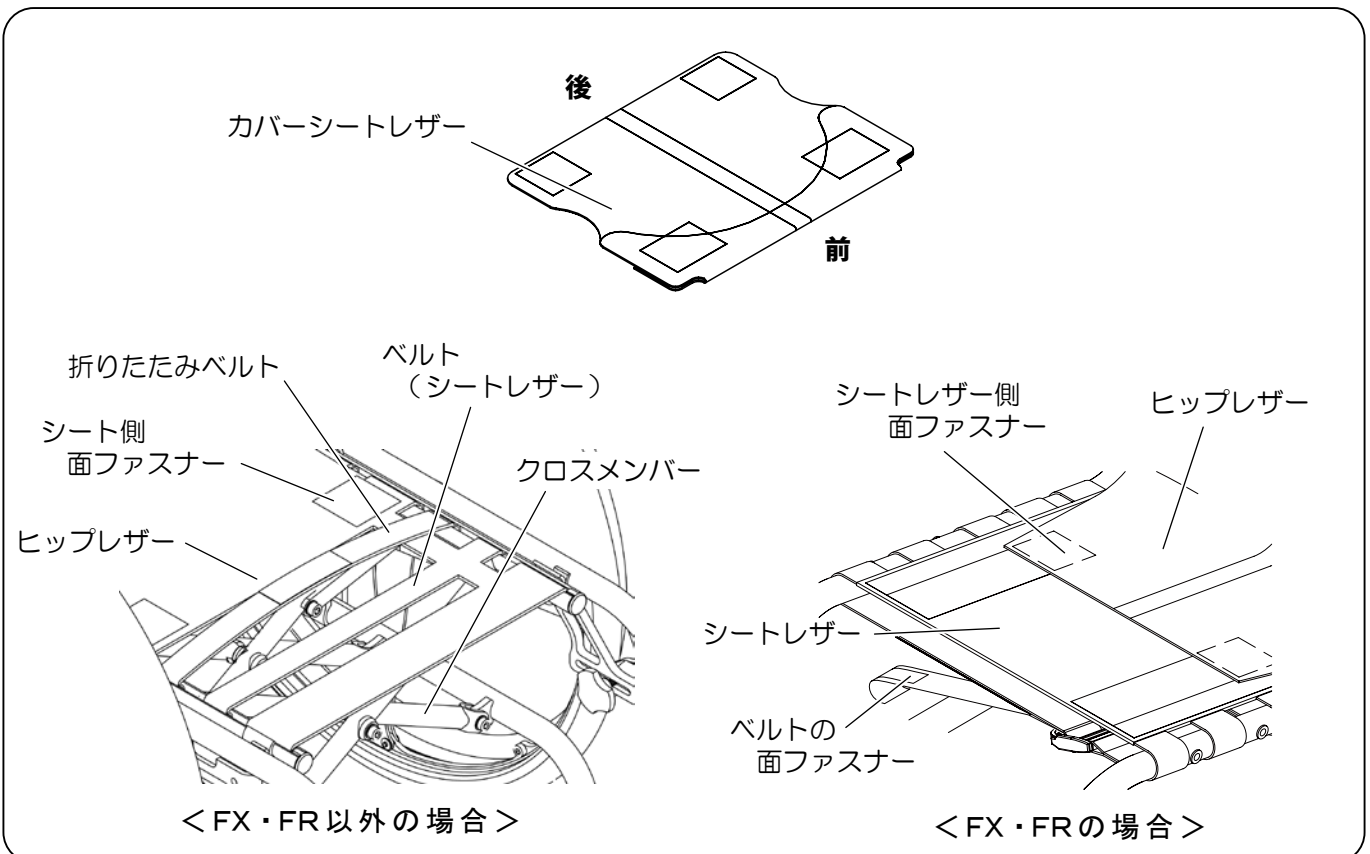
*車いすが開いた状態でしっかりとクロスメンバーがフレームの「受け」に収まっていることを確認してください。（P.15）

＜シートレザーの張り調節（FX・FR）＞【図2-26】

- 1) ベルトの面ファスナーをはがし、最適な張りに調整しながらベルトの面ファスナーを貼付ける。
- 2) ヒップレザーのシートレザー側の面ファスナーをはがし、最適な張りに調整しながら貼付ける。
- 3) サイドレザーのシートレザー側の面ファスナーをはがし、最適な張りに調節しながら貼付ける。（FXのみ）

＜レザーの点検＞

バックレザー・シートレザーの緩みや破損がないか確認してください。
緩んでいる場合は張り直し、破損している場合は交換修理してください。



【図2-26】

車軸位置の調整・点検

＜キャンバーの有無（エキセントリックカラー）＞

【図2-27】(P.41) 【図2-28】(P.41)

機種、キャンバー角により使われているエキセントリックカラーが異なります。【図2-27】(P.41) 【図2-28】(P.41)をご確認ください。

⚠警告

「キャンバー無し」の場合は、内側の①ナットを確実にナットガイドに合わせる。

* ②ボルトが抜け、転倒・転落のおそれがあります。

＜車軸調節穴の変更（エキセントリックカラー）＞

【図2-27】(P.41) 【図2-28】(P.41)

- 1) ブレーキを解除する。車軸を前方へ移動する場合は、あらかじめブレーキ位置を前方へ移動する。(P.18・19)
- 2) ホイールを外す。(P.16)
- 3) フレーム外側の①ナットを外す。
- 4) フレーム内側から②ボルトを外す。
- 5) 最適な位置の車軸調節穴に②ボルトを取付ける。
GWXⅢはカラーを回転させることで調整範囲が変わります。
- 6) 「キャンバー無し」の場合は、フレーム内側の①ナットをナットガイドに合わせる。【図2-28】(P.41)
- 7) ＜ホイール取付け間隔の調整＞(P.45・46)に従い、フレーム外側の①ナットを締付ける。
- 8) 左右同じ位置にする。
- 9) ホイールを取付けて、ブレーキを調整する。(P.16・18・19)
- 10) キャスター角を調整する。(P.48)

⚠警告

「車軸位置の調整」を行ったときは、必ずアームレストとタイヤが接触していないか確認する。

* ホイールが外れたり車いすが破損し転倒・転落のおそれがあります。

⚠警告

「車軸位置の調整」を行ったときは、必ずブレーキが確実にかかるか確認する。

* 転倒・転落のおそれがあります。

①ナット締付けトルク 60N・m

⚠警告

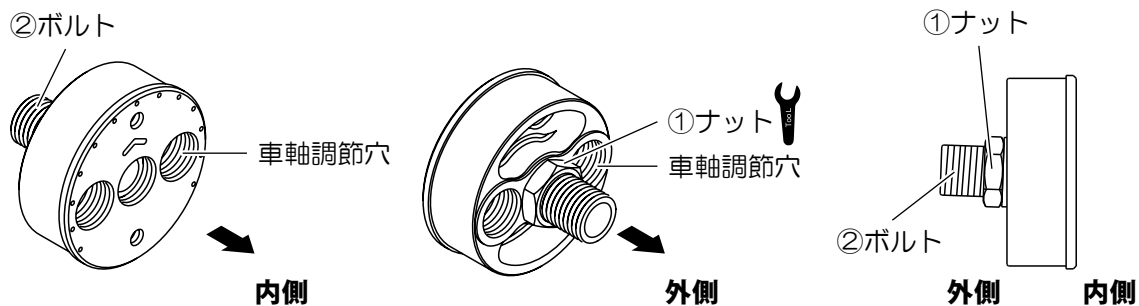
車軸を前方へ移動する調整を行った際は、十分注意して車いすに乗車する。

* 後方へ転倒するおそれがあります。

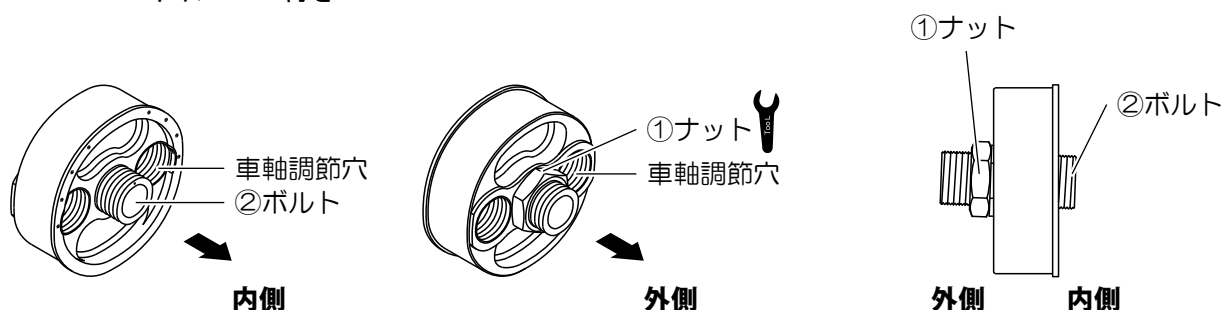
* 調整後初めて乗るときは、ゆっくりと乗車してください。

車軸位置の調整・点検

ZZR・SX・SR キャンバー付き



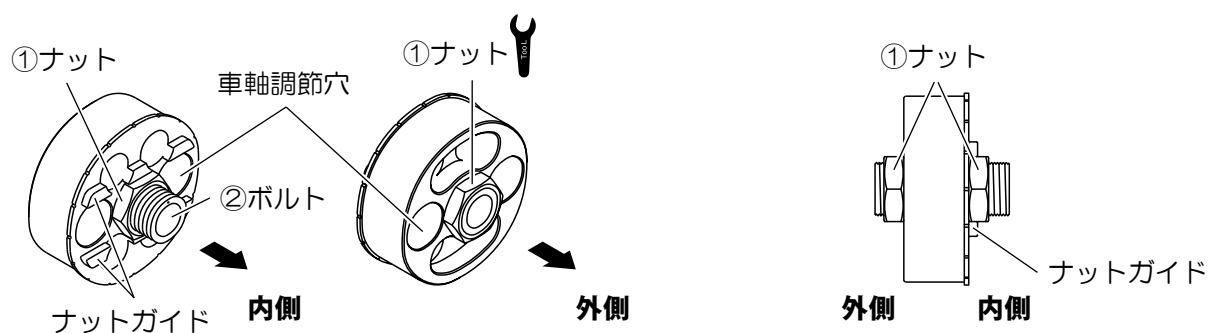
MX・MR キャンバー付き



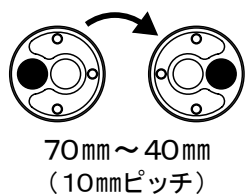
【図2-27】

ZZR・GWXⅢ・SX・SR・MX・MR キャンバー無し

エキセントリックカラーの形状、ナットガイドの形状は機種により異なります。



GWXⅢのカラー回転



【図2-28】

車軸位置の調整・点検

＜車軸位置の調整（サスペンション）＞

【図2-29】(P.42) 【図2-30】(P.43)

- 1) ホイールを取外す。(P.16)
- 2) サスペンションを固定している①ボルトを緩める。
- 3) サスペンションを車いす内側へ押し出し、フレームから取外す。
- 4) 反対側のサスペンションも1)、2)の手順で取外す。
- 5) 左右のサスペンションを入替えて取付ける。
※ゴムダンパーが必ず車軸の上にくるように取付けてください。
- 6) マークとフレーム調整ガイドが【図2-29】の位置になるように調整する。
※合わせるマークの位置は機種により異なります。
※調整後、サスペンションが確実にフレームへ組込まれていることを確認してください。
- 7) サスペンションをフレーム外側方向に押付けながら、左右の①ボルトを締める。
※①ボルトを取外してしまった場合は、必ず【図2-30】(P.43)の向きと順で、①ボルトへ必要な部品の向きを合わせて通し、締め付けてください。
- 8) ホイールを取付ける。(P.16)

⚠警告

分解・改造等はいししない。

⚠警告

ボルトは、必ず 規定トルクで締める。

* 走行中にサスペンションが脱落する恐れがあります。

⚠注意

サスペンションを取外す際、鉄ハンマー等で叩かない。

* 破損する恐れがあります。

⚠注意

点検や調整後は、必ずフレーム調整ガイドとマークの位置が合っていることを確認する。

* 合わせるマークの位置は機種により異なります。

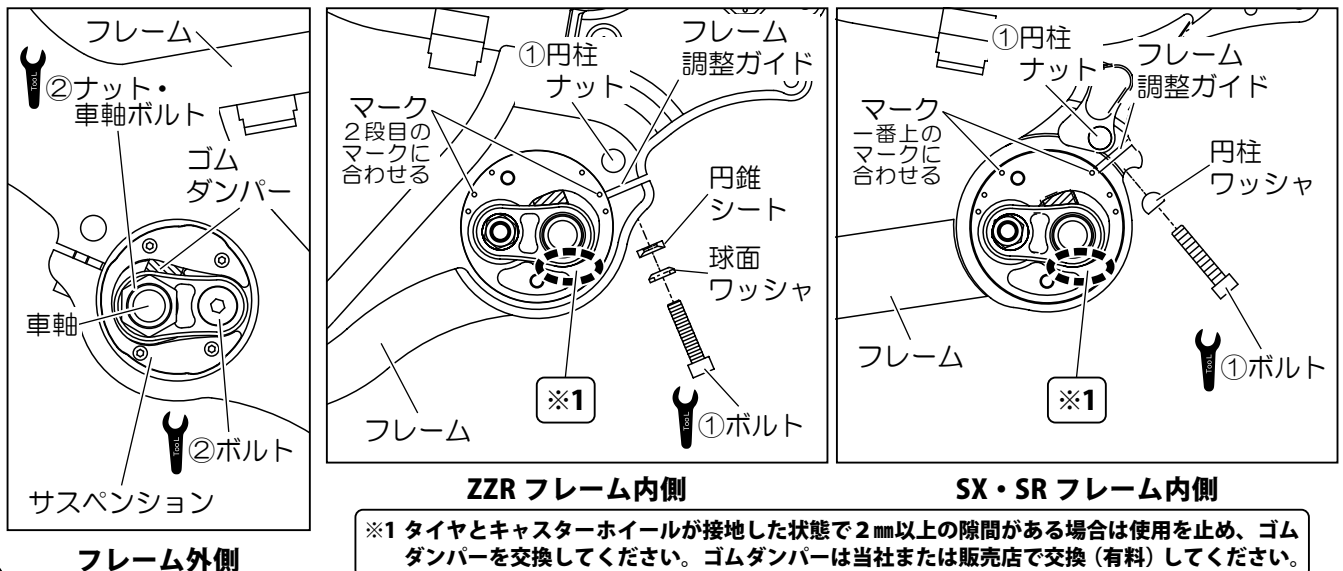
* 左右サスペンションの組付け角度に大きなズレが生じると、直進性に支障が出ます。

＜サスペンションの点検＞【図2-29】

- ・ボルト、②ナットに緩みはないか。
- ・乗車していない状態で、破線部に2mm以上の隙間はないか。
- ・サスペンション本体に大きなガタ付きや異常はないか。
* 異常がある場合には使用を止め、販売店または当社までご相談ください。

①ボルト締め付けトルク ZZR: 12N・m、SX・SR: 15N・m
 ②ナット・車軸ボルト締め付けトルク 60N・m
 ②ボルト締め付けトルク 26N・m

図は車軸前後位置40mmの場合（SX・SRでフレーム高フラットの場合は20mm）



【図2-29】

車軸位置の調整・点検

< 後座高の調整（エキセントリックカラー） >

【図2-30】【図2-31】

「キャンバー無し」のみエキセントリックカラーを回転移動し、後座高の調整を行えます。

- 1) ホイールを取外す。(P.16)
- 2) エキセントリックカラーを固定している①ボルトを緩める。
- 3) エキセントリックカラーの内側のマークを目安に、最適な位置までエキセントリックカラーを回転させる。
※ 調整後、エキセントリックカラーが確実にフレームへ組込まれていることを確認してください。
- 4) エキセントリックカラーを外側に押付けながら①ボルトを締める。
- 5) マークを目安に左右同じ位置に調整する。
- 6) ホイールを取付ける。(P.16)
- 7) ブレーキを調整する。(P.18・19)
- 8) キャスター角を調整する。(P.48)

ボルト締付けトルク（ZZRを除く） 15N・m
ボルト締付けトルク（ZZR） 12N・m

警告

ボルトは、必ずエキセントリックカラーを外側に最後まで押付けながら締める。

* エキセントリックカラーが抜け転倒・転落のおそれがあります。

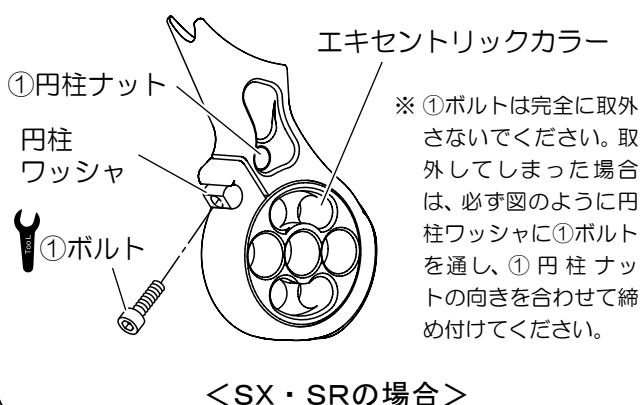
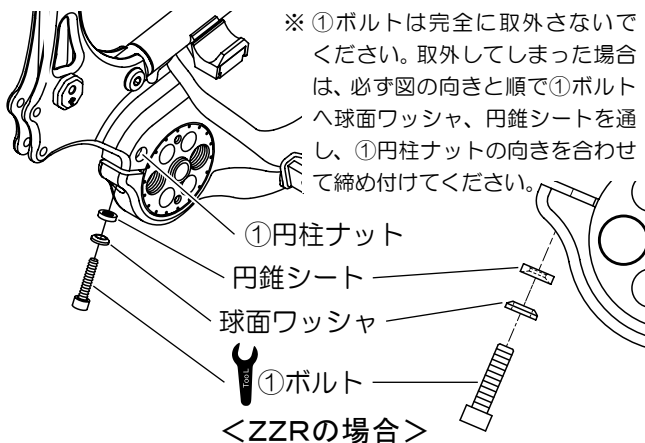
* ホイールとフレームなどが接触し、車いすが破損するおそれがあります。

警告

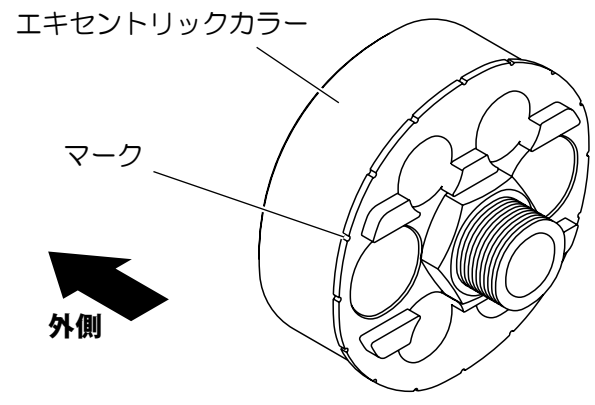
調整後は、必ずブレーキが確実にかかるか確認する。

* ブレーキが機能せず、思わぬ事故のおそれがあります。

* 必ずブレーキの調整を行ってください。(P.18・19)。



【図2-30】



【図2-31】

車軸位置の調整・点検

＜トー寸法の修正（キャンバー付きのみ）＞【図2-32】

左右のタイヤ前部、後部の幅寸法を同一の高さで測定し、AとBが同一寸法になるようにエキセントリックカラーを回転させて調整します。

- 1) 左右のボルトを緩める。
- 2) エキセントリックカラー内側のマークを目安に左右のエキセントリックカラーを回転させ、トー寸法を0mm（ $A = B$ ）にする
- 3) エキセントリックカラーをフレーム外側方向に押し付けながら左右のボルトを締める。

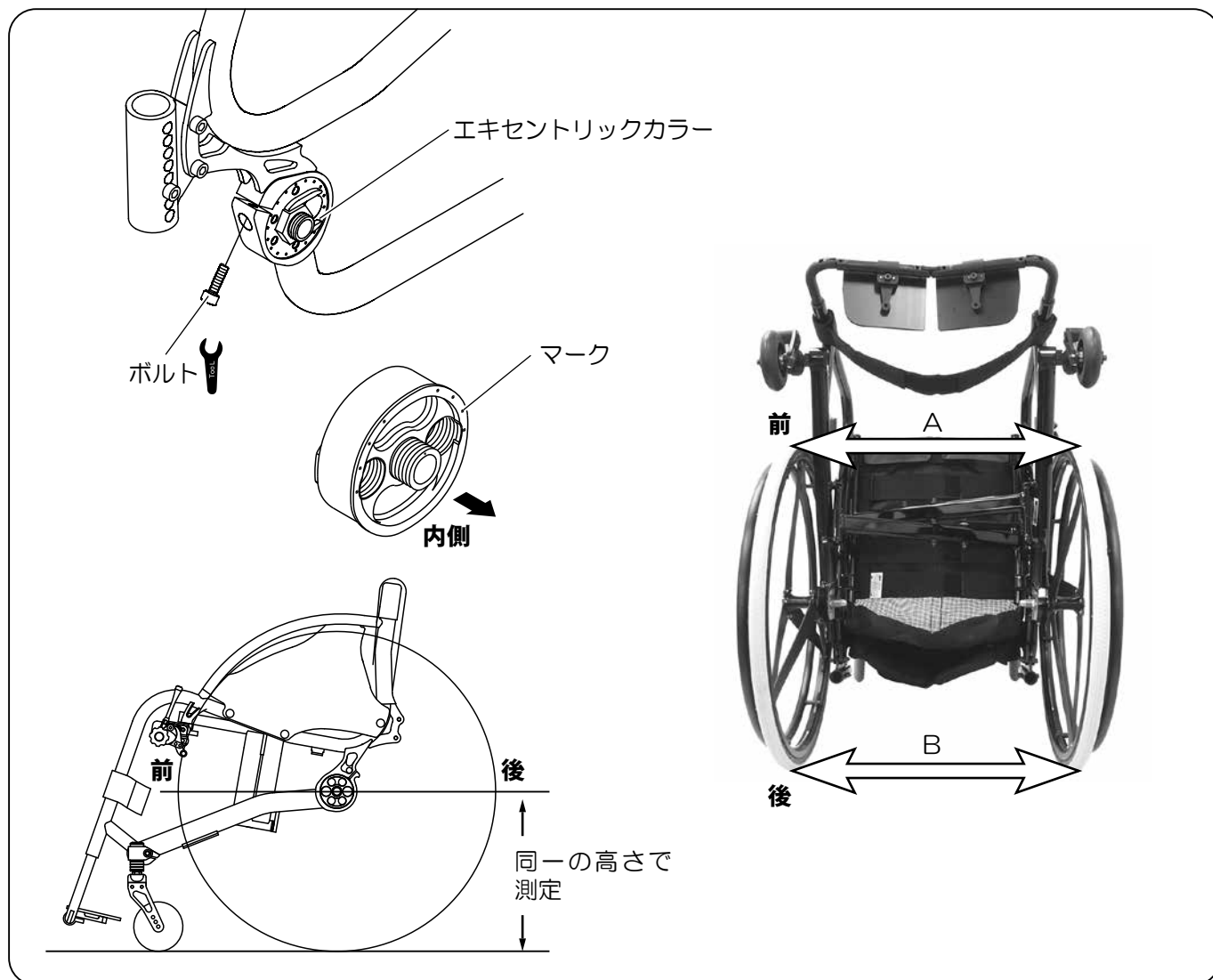
※ 調整後、エキセントリックカラーが確実にフレームへ組込まれていることを確認してください。

▲警告

ボルトは必ずエキセントリックカラーを最後まで外側に押しつけながら締める。

* エキセントリックカラーが外れ転倒・転落など事故のおそれがあります。また、ホイールがフレームに接触して、車いすが損傷するおそれがあります。

ボルト締め付けトルク（ZZRを除く） 15N・m
ボルト締め付けトルク（ZZR） 12N・m



【図2-32】

車軸位置の調整・点検

＜ ホイール取付け間隔の調整 ＞【図2-33】(P.46)

ホイール取付け間隔は、【図 2-33】(P.46) に示す調整規定に従って調整してください。

※ホイールやブレーキの交換(種類の変更)を行う際は、必ず調整してください。

- 1) ホイールを外す。(P.16)
- 2) 外側(フレーム外側)の①ナットを緩める。
- 3) 調整規定に従い、②ボルトを回して最適な取付け間隔にする。
- 4) 内側(フレーム内側)の③ナットをナットガイド(キャンバー付き、LX・LR・FX・FRにはありません)に合わせる。
- 5) 外側(フレーム外側)の①ナットを締める。
- 6) ホイールを取付ける。(P.16)
- 7) フレームやサイドレザーなどにホイールやタイヤが接触していないか確認する。
- 8) ブレーキが確実にかけられるか確認する。
- 9) 左右同様に調整する。

①ナット締付けトルク 60N・m
A ボルト締付けトルク 10N・m

警告

②ボルトの調整は必ず調整規定に従って調整する。

*ホイールが外れ、転倒・転落のおそれがあります。また、事故や車いすを破損するおそれがあります。

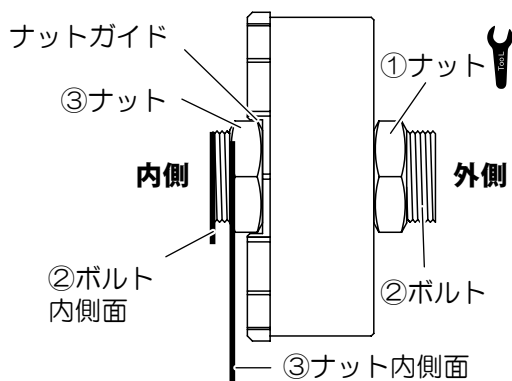
警告

調整後は、必ずブレーキが確実にかかるか確認する。

*転倒・転落のおそれがあります。

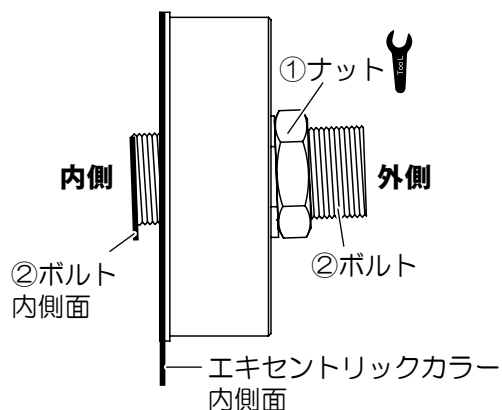
車軸位置の調整・点検

< ZZR・GWX Ⅲ・SX・SR・MX・MR
キャンバー無し >

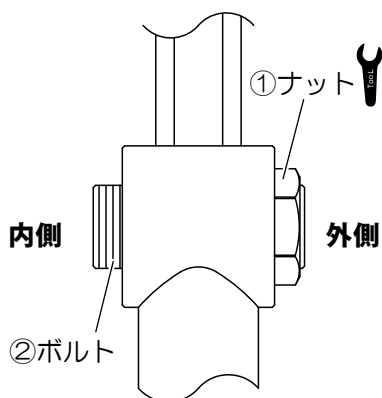


エキセントリックカラーの形状、ナットガイドの形状は機種により異なります。

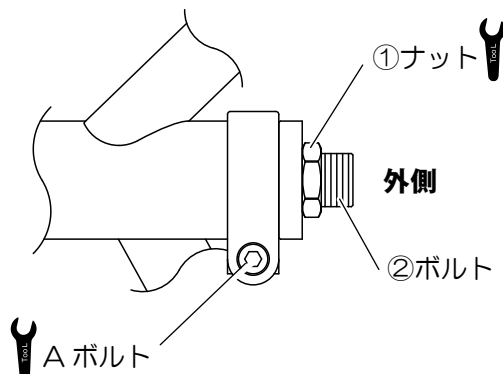
< キャンバー付き >



< LX・LR >

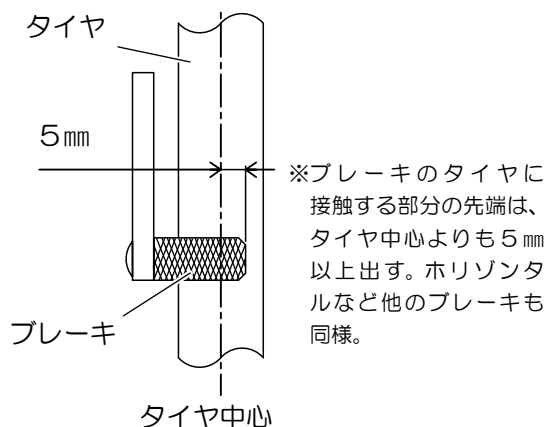


< FX・FR >



※工場での調整用クランプをしめているボルトです。
ホイール取り付け間隔の調整には使用しません。

< タイヤ・ブレーキの位置 >



【調整規定】

次の条件を満たす範囲で調整してください。

- ②ボルト内側面は、③ナット内側面に対し、同一または内側に出す。
- ②ボルト調整後、図に示すように、タイヤに対するブレーキの位置は、5mm以上にする。
- 調整後、ホイールなどの回転部を、フレームやレザーに接触させない。

【図2-33】

キャスターの調整・点検

※キャスターは間違った調整を行うと大変危険です。調整作業に不安がある場合は、お買い求めになった販売店もしくは当社営業所にて調節を行ってください。

＜前座高の調節＞【図2-34】【図2-35】

キャスターフォークの調節穴を使用して調節します。

注意：キャスターフォークにSFR2またはSFR2ショートを使用している場合、下記のキャスターホイールは部品干渉が発生するおそれがありますので、調節することができません。【図2-35】
出荷時の位置にてご使用ください。

[GWXⅢ・LX・LR・FX・FR]

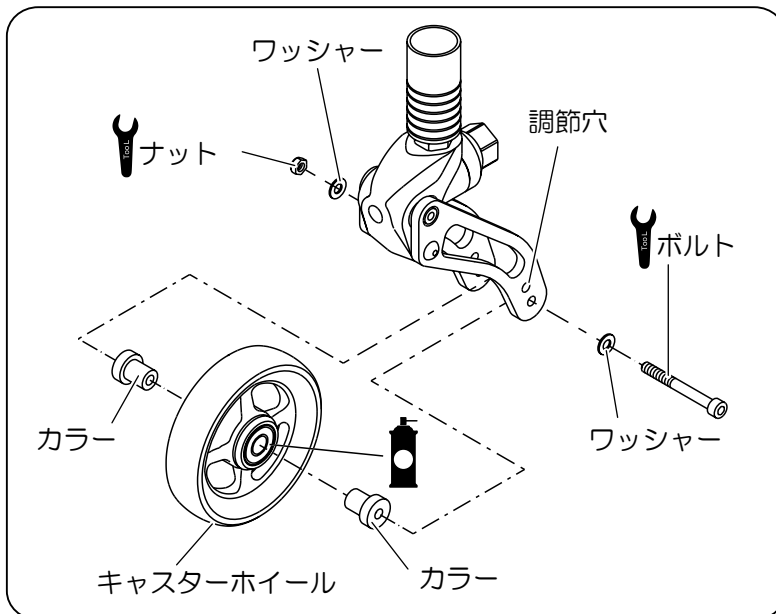
キャスターホイール：105mm以上

[ZZR・SX・SR・Mシリーズ]

キャスターホイール：125mm以上

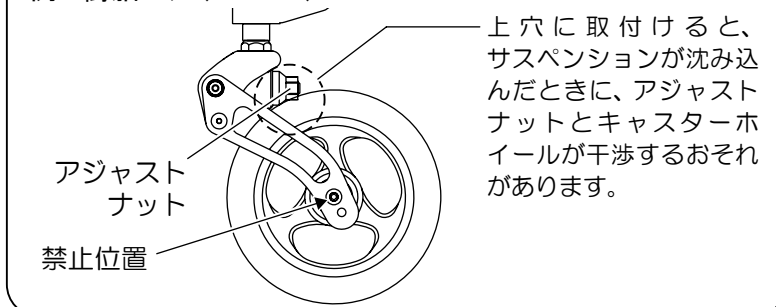
- 1) ボルト、ワッシャー、ナットを外す。
- 2) キャスターホイールの左右にカラーが組み込まれた状態で最適な調節穴に合わせる。
- 3) ボルト、ワッシャー、ナットを締付ける。
- 4) 左右同じ調節穴になるように調節する。
- 5) キャスター角を調整する。(P.48)

ボルト締付けトルク 10N・m



【図2-34】

例：樹脂コア（127mm）



【図2-35】

警告

必ず、左右同じ高さの調節穴を使用する。

*車いすが不安定になり転倒・転落のおそれがあります。また、車いすが破損します。

警告

【図2-35】の取付け方はしない。

*キャスターフォークとキャスターホイールが干渉し、転倒・転落のおそれがあります。また、車いすが破損します。

キャスターの調整・点検

＜キャスター角の調整（LX・LR・FX・FRを除く）＞

【図2-36】【図2-37】【図2-38】

- 1) ボルトを緩める。
- 2) 市販のゲージを当てながら、キャスターホルダーを垂直にする。
- 3) フレーム内側の突き出し量「A」が規定範囲内（下記、＜トレッドの調整＞参照）であることを確認する。
- 4) ボルトを締める。
- 5) 左右同様に調整する。

▲警告

ボルトは、必ず 規定トルクで締める。

*キャスターが回転・破損して転倒・転落など事故のおそれがあります。

▲警告

「A」の突き出し量は、必ず 0～5mm 以内にする。

*キャスターが抜け転倒・転落のおそれがあります。

* 調整が不十分だと直進性に支障を来します。

＜トレッドの調整（LX・LR・FX・FRを除く）＞

【図2-36】【図2-37】

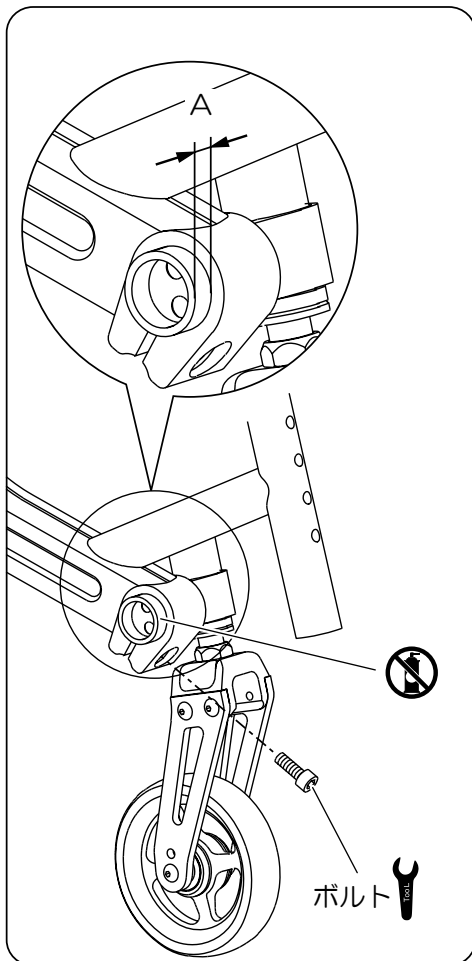
＜キャスター角の調整（LX・LR・FX・FRを除く）＞同様にボルトを緩め、キャスターのトレッドを調整してボルトを締めます。

この時、フレーム内側の「A」の突き出し量は、必ず 0～5mm 以内で調整してください。

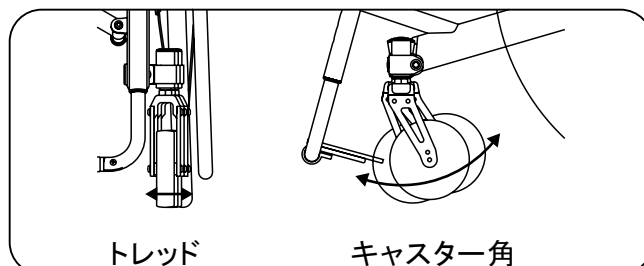
調整後は必ず＜キャスター角の調整（LX・LR・FX・FRを除く）＞を行ってください。

ボルト締付けトルク（ZZRを除く） 25N・m

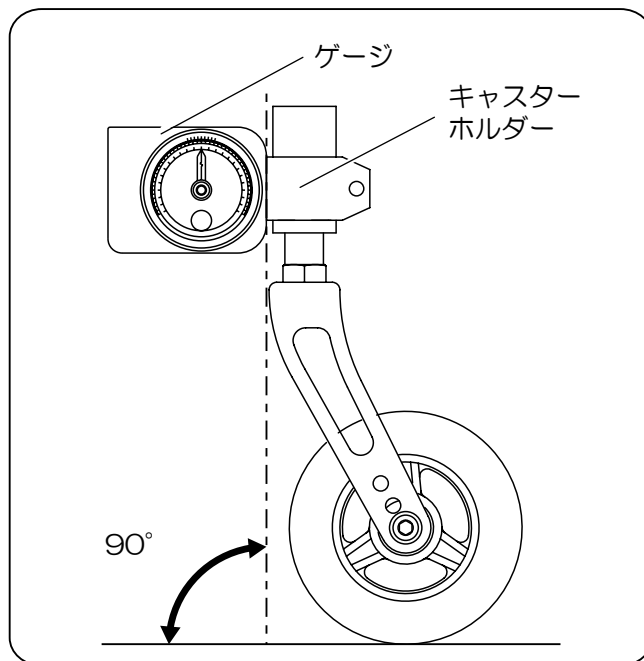
ボルト締付けトルク（ZZR） 23N・m



【図2-37】



【図2-36】



【図2-38】

キャスターの調整・点検

＜ハイトの調整（GWXⅢ・LX・LR・FX・FRを除く）＞

【図2-39】【図2-40】

主に車軸位置やホイール、キャスターホイール径の変更による前後差（前座高と後座高の差）の変化を修正します。

- 1) ボルトを緩める。
- 2) **a** を下にさげる。
- 3) **a** の溝からCリングを外す。
- 4) 6箇所（6箇所の溝の中から最適な高さになる溝にCリングをはめる。

注意：ZZRにSFR2を装着し、キャスターホイールが125mm以上の場合は、**a**の溝の最下段にCリングをはめることはできません。

- 5) **b**の下面の段付き面にCリングが当たるまで**a**を下から差し込む。
- 6) ボルトを締める。
- 7) 反対側も同じ高さに調節する。
- 8) ＜キャスター角の調整（LX・LR・FX・FRを除く）＞を行う。（P.48）

警告

ボルトは、必ず規定トルクで締める。

*キャスターが脱落・破損して転倒・転落など事故のおそれがあります。

警告

必ず段付き面にCリングが当たるまで「**a**」を押上げる。

*キャスターが脱落・破損して転倒・転落など事故のおそれがあります。

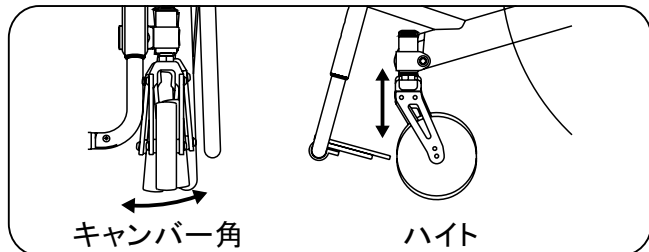
＜キャンバー角の調整

（GWXⅢ・LX・LR・FX・FRを除く）＞【図2-39】

通常は必要ありません。調整が必要な場合は、販売店にご依頼ください。

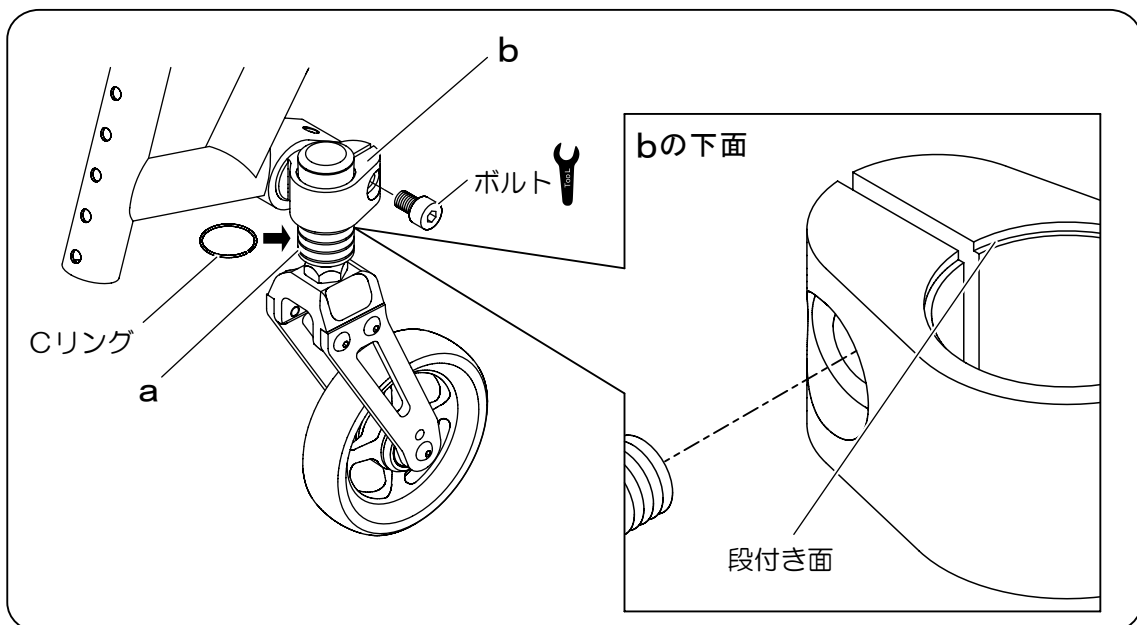
＜キャスターの点検（GWXⅢ・LX・LR・FX・FRを除く）＞

ボルトの緩みはないか。
曲がり、亀裂、破損、異音、ガタつき、
回転不良はないか。
ゴムは十分に残っているか。
※ 異常がある場合には使用を止め、
販売店または当社までご相談ください。



【図2-39】

ボルト締め付けトルク 10N・m



【図2-40】

キャスターの調整・点検

＜ハイトの調整（GWXⅢ）＞【図2-41】

主に車軸位置やホイール、キャスターホイール径の変更による前後差（前座高と後座高の差）の変化を修正します。

- 1) 止めネジを緩める。
- 2) **a** ナットの A 穴に 4mm の六角レンチなどを差し込み、回らないように固定する。
- 3) キャスターフォークを回して **b** から抜取る。
- 4) ボルトを緩め **b** を上下反転させる。
- 5) **c** を **b** に差し込み、**a** ナットを回らないように固定したままキャスターフォークを回し、ガタ無くスムーズに動く位置で、止めネジを締める。
- 6) 反対側も同じ高さになるように調整する。
- 7) キャスター角の調整をする。（P.48）
- 8) ボルトを締める。

警告

ボルトは、必ず規定トルクで締める。

*キャスターが脱落・破損して転倒・転落など事故のおそれがあります。

＜キャンバー角の調整（GWXⅢ・LX・LR・FX・FR）＞

【図2-39】（P.49）

通常は必要ありません。調整が必要な場合は、販売店にご依頼ください。

＜キャスターの点検（GWXⅢ・LX・LR・FX・FR）＞

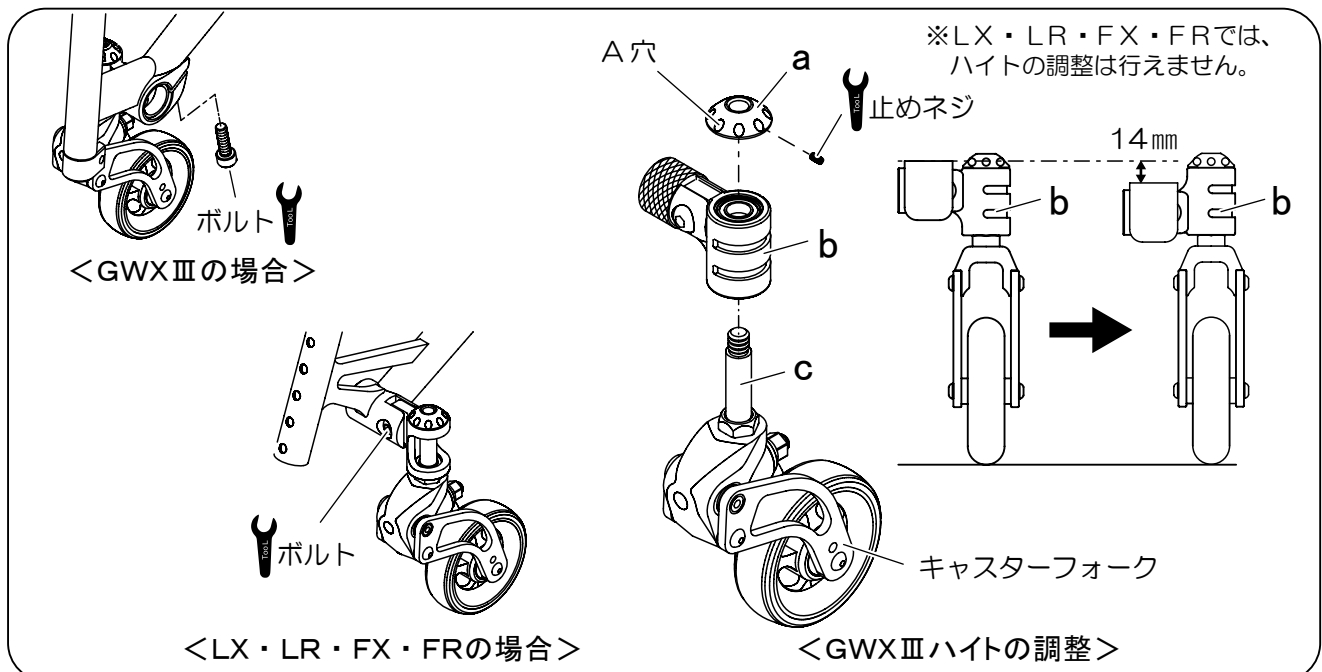
ボルトの緩みはないか。

曲がり、破損、異音、回転不良はないか。

ゴムは十分に残っているか。

※異常がある場合には使用を止め、販売店または当社までご相談ください。

ボルト締付けトルク 25N・m
止めネジ締付けトルク 6N・m



【図2-41】

アームレストの調整・点検

＜アームレスト高の調節①＞【図2-42】

- 1) ①ボルト、③ スペーサー、ワッシャー、ナットを外す。
- 2) 調節穴の 1 番上を除く 最適な位置に固定穴を合わせる。
- 3) ①ボルト、③ スペーサー、ワッシャー、ナットで締付ける。
※このとき③ スペーサーがアームレストホルダーの調節穴(大)に収まるように締付けます。
- 4) 反対側も同様に調節する。

⚠警告

ボルトを締付ける際は図の順序で組付ける。

*アームレストが確実に固定されず事故のおそれがあります。

＜アームレスト高の調節② (ZZR・LX・LR・FX・FR)＞

【図2-42】【図2-43】

ZZR・LX・LR・FX・FRは、上記＜アームレスト高の調節①＞に加えて、アームレストホルダーの取付方法による高さ調節が可能です。

- 1) 左右の①ボルト、ナット、ワッシャー、③ スペーサーを外し、アームレストパイプを抜き取る。
- 2) 左右の上下②ボルト、④スペーサー、ワッシャー、ナットを外し、アームレストホルダーを取外す。
- 3) アームレストホルダーを左右入れ替えてから“上下反転”させる。
- 4) 調節穴(小)が車いす内側になっていることを確認して、上下の②ボルト、④スペーサー、ワッシャー、ナットで、アームレストホルダーを取付ける。
- 5) 上記＜アームレスト高の調節①＞を行う。

⚠警告

①ボルトはスペーサーを調節穴(大)に収めてから締付ける。

*アームレストが確実に固定されず事故のおそれがあります。

*ボルトとアームレストパイプに③スペーサーをはさみこむように締付けます。

⚠警告

調節穴の1番上の穴は使用しない。

*アームレストが確実に固定されず事故のおそれがあります。

＜アームレストの点検＞

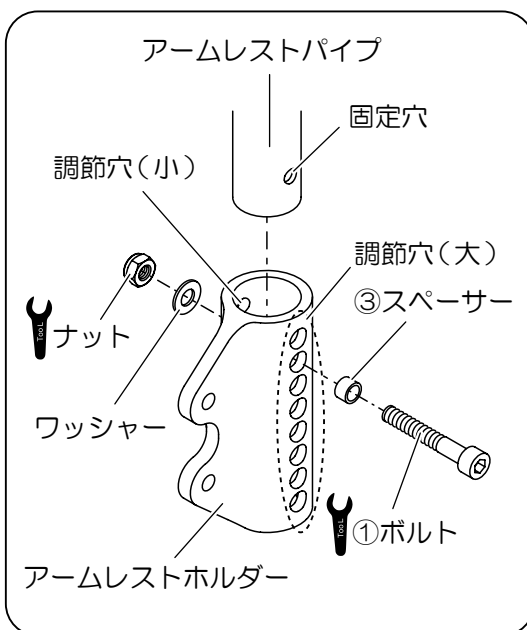
極端に大きなガタつきやネジ・ボルトの緩みがないか点検してください。

①②ボルト、ナット締付けトルク 10N・m

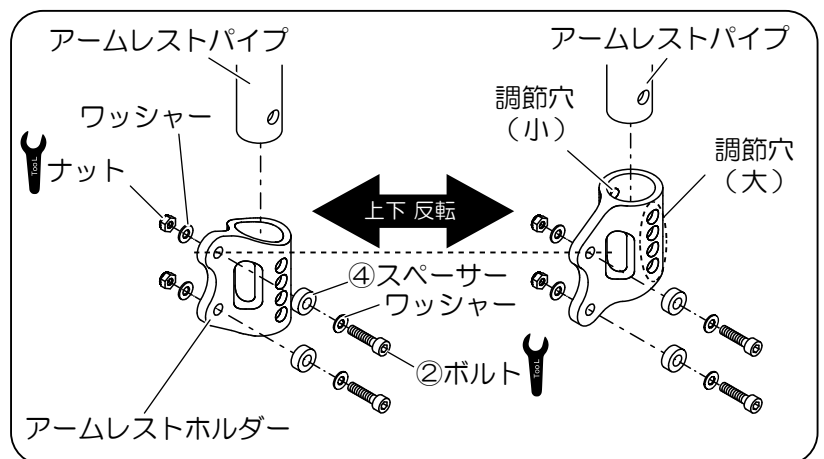
⚠警告

アームレストとタイヤが接触していないことを確認する。

*アームレストやタイヤを損傷させるおそれがあります。



【図2-42】



【図2-43】

その他の調整・点検

＜キャストフォーク「SFR2」の調整＞【図2-44】【図2-45】

- 1) 車いすに乗らない状態で、左右のSFR2の、【図2-44】で示す「A」の寸法を測定する。
- 2) 普段の乗車姿勢で車いすに乗り、1)と同様に、の「A」の寸法を測定する。
※1)と2)の寸法の差は、5mm程度が基本的な硬さです。
- 3) 1)と2)の寸法の差が5mm程度でない場合、アジャストナット【図2-44】を12mmのレンチを使い、次のとおり調整する。
※5mmより小さい場合：【図2-45】の「柔らかくなる」方向へ回す。
※5mmより大きい場合：【図2-45】の「硬くなる」方向へ回す。
※アジャストナットの調整は1回あたり、1/4～1/2回転までとしてください。
※左右ともに、基本的な硬さ(上記、1)と2)の寸法差が5mm程)となるまで調整を繰り返してください。
- 4) 調整後、実際に車いすを走行させ、乗り移り等も十分考慮したうえで最適な硬さであることを確認する。

警告

測定・調整は介助者等に行ってもらおう。

*無理な姿勢での作業は、バランスを崩し転落など事故のおそれがあります。

警告

測定・調整は左右のキャストが同様となるようにする。

*左右の設定が異なった状態では、直進性が低下します。著しく異なる場合バランスを崩し、転落など事故のおそれがあります。

＜キャストフォーク「SFR2」の調整範囲＞

【図2-45】【図2-46】

「柔らかくなる」方向

アジャストナットを【図2-45】の「柔らかくなる」方向へあまり力を入れずに回して、止まったところが最も柔らかい状態です。それ以上は無理に回さないでください。

「硬くなる」方向

アジャストナットを【図2-45】の「硬くなる」方向へ回して、【図2-46】のMAXラインまでの範囲内で調整してください。

警告

サスペンションの硬さの調整は一度に大きく変えない。

*硬さが一度に大きく変化するとバランスを崩し、転落など事故のおそれがあります。

警告

基本の硬さから柔らかくしすぎない。

*乗り移り等で車いす前方に加重をかけた場合バランスを崩し、転落など事故のおそれがあります。

＜ゴムダンパーについて＞

- ・サスペンションケースのゴムダンパーは、初期のなじみによりサスペンションが柔らかくなりやすいので、適時に上記の調整を行ってください。
- ・ゴムダンパーは消耗品です。機能が低下した場合は交換してください。

警告

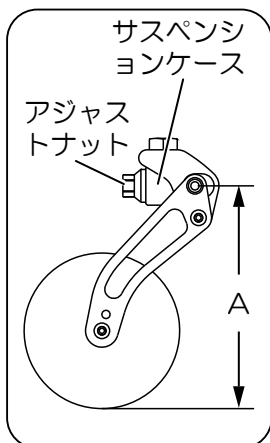
分解・改造等はしない。

*キャストフォークが破損し、転落など事故のおそれがあります。

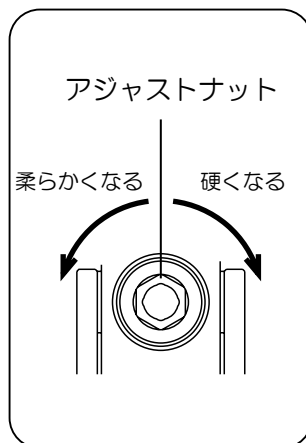
注意

アジャストナットを無理に回さない。

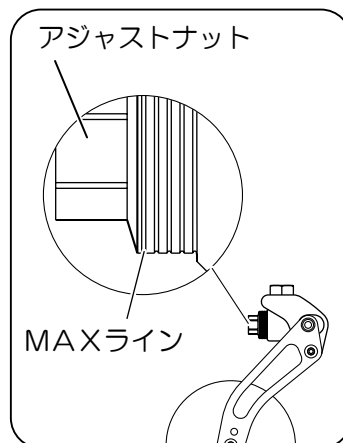
*アジャストナットの調整範囲をこえて無理に回そうとするとキャストフォークを破損するおそれがあります。



【図2-44】



【図2-45】



【図2-46】

その他の調整・点検

＜レッグベルトの着脱＞【図2-47】

取外し：レッグベルト裏側左右の面ファスナーをはがす。

取付け：最適な位置に面ファスナーを貼付ける。

※面ファスナーの貼付けしろの長さは、左右均等にしてください。

⚠注意

面ファスナーのA面（オス）が着衣に触れないように取付ける。

*着衣を傷める恐れがあります。

＜キャストホイール「LPC3」のゴム交換＞【図2-48】

キャストホイール「LPC3」のゴムが減ってきたり深い亀裂が入った時は、お買い求めの販売店でゴム交換を行ってください。

ご自分で交換される場合

- 1) キャスターフォークからキャストホイールを取外す。
※ P.47 の＜前座高の調節＞を参照してください。
- 2) 軍手など厚みのある手袋を着用して古いゴムをコアから取外す。
- 3) 新しいゴムを伸ばしながらコアにはめ込む。
※ある程度の力が必要です。

⚠注意

キャストホイール「LPC3」のゴム交換や清掃時に、潤滑剤やワックスなどの油分を使用しない。

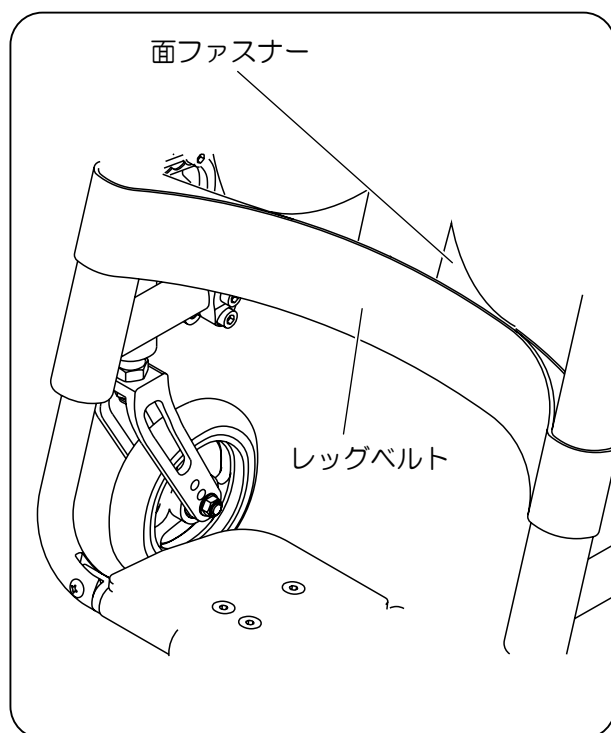
*ゴムが外れ事故のおそれがあります。

*ゴムのひび割れなどの原因となります。

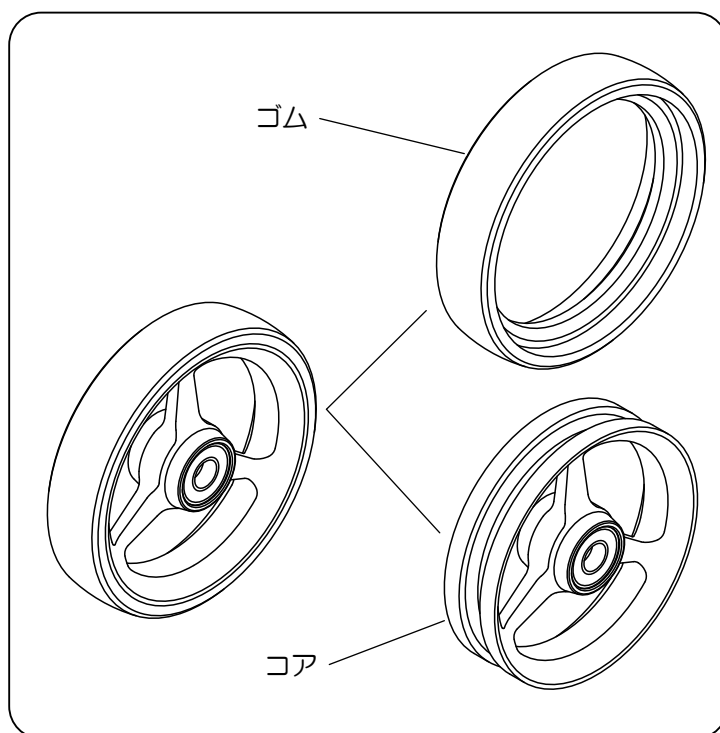
⚠注意

ゴム交換作業を行う際は、軍手などを着用する。

*指などはさみ危険です。



【図2-47】

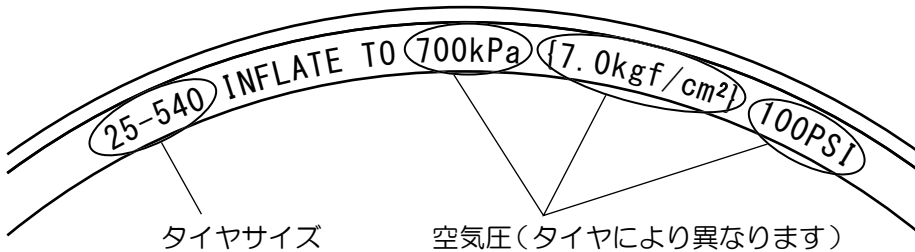


【図2-48】

その他の調整・点検

＜タイヤの点検＞

1. 亀裂、損傷、異物、溝の深さ、異常な磨耗などを点検します。
2. タイヤに異常がある場合は、お買い求めの販売店で点検・整備を受けてください。
3. 空気圧は適切か点検してください。



※十分空気が入っていて、タイヤに表示してある空気圧になっていること。(図の数値は表示の例)

※使用する空気入れのメーター表記にしたがいタイヤに表記された空気圧の指示に合わせてください。

⚠注意

- パンクしたまま使用しないでください。
- 空気圧が少ないと車いすの操作が重くなり、パンクしやすくなります。
- 空気圧が少なすぎると、リムからタイヤが外れるおそれがあります。
- 空気圧が多すぎると、気圧や温度の変化でパンクするおそれがあります。
- 好みによる空気圧の調節は、適正空気圧のマイナス10%以内に行ってください。
- 左右の空気圧は同一に行ってください。

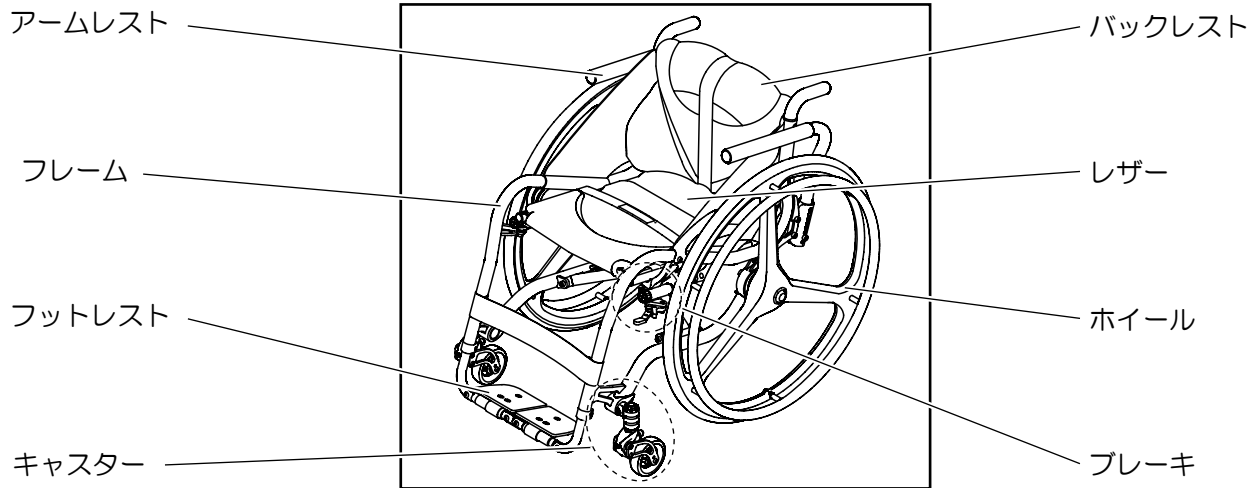
＜ホイール回りの点検＞

1. ホイールやハンドリムの動きに異常が感じられたら、直ちに使用を止め、必要に応じて清掃、注油、増し締めを行ってください。改善されない場合は、販売店または当社までご相談ください。
2. ホイールシャフトの動きに異常が感じられたら、直ちに使用を止め、必要に応じて清掃、注油を行ってください。改善されない場合は、販売店または当社までご相談ください。
3. スポークに緩みがないか点検を行い、異常が感じられたらご使用を止め、販売店または当社営業所までご相談ください。

＜その他の点検＞

1. ♪ マークの付いている箇所は1か月に1回点検。
緩み、脱落、破損、異音がないか点検してください。
2. キャスター回りは1か月に1回点検。
曲がり、破損、異音、回転不良がないか点検してください。
3. ブレーキは毎日乗車する前に点検。
ブレーキの効き、ボルト・ナット類の緩み、脱落などがないか点検してください。
4. アームレスト、グリップは毎日乗車する前に点検。
ぐらつき、大きなガタつき、ネジ・ナット類の緩み、異音がないか点検してください。

日常・定期点検



< 日常点検 >

乗車前に必ず次の点検を行ってください。

異常があった場合は、各部の調整を行ってください。

調整に不安がある方や、調整しても直らない場合は直ちに使用を止め、販売店または当社営業所までご相談ください。

また、各部の調整を行った後も、必ず次の点検を行ってください。

- 全体的に極端に大きなガタつきやネジ・ボルトの緩み、ひび割れや極端な変形はないか。
- ブレーキの効き具合は適切か。
- タイヤの空気圧は十分か。
- レザーは自分の状態に最適な張り調整になっているか。

< 定期点検 >

1 か月に 1 回を目安として、必ず次の点検を行ってください。

異常があった場合は、各部の調整を行ってください。

調整に不安がある方や、調整しても直らない場合は直ちに使用を止め、販売店または当社営業所までご相談ください。

また、各部の調整を行った後も必ず次の点検を行ってください。

- 全体的に極端に大きなガタつきはないか。
- ひび割れや変形している箇所はないか。
- ブレーキの動作に問題はないか。
- タイヤの空気圧は十分か。タイヤの溝は十分残っているか。
- レザーは自分の状態に最適な張り調整になっているか。
- キャスターやホイールに引っ掛かりや大きなブレなどの回転不良はないか。
- ネジ・ボルトの緩みはないか。

その他

ここでは、各車いすの仕様諸元とお客
様ご相談窓口のご案内を記載しています。

仕様諸元

お客様ご相談窓口のご案内

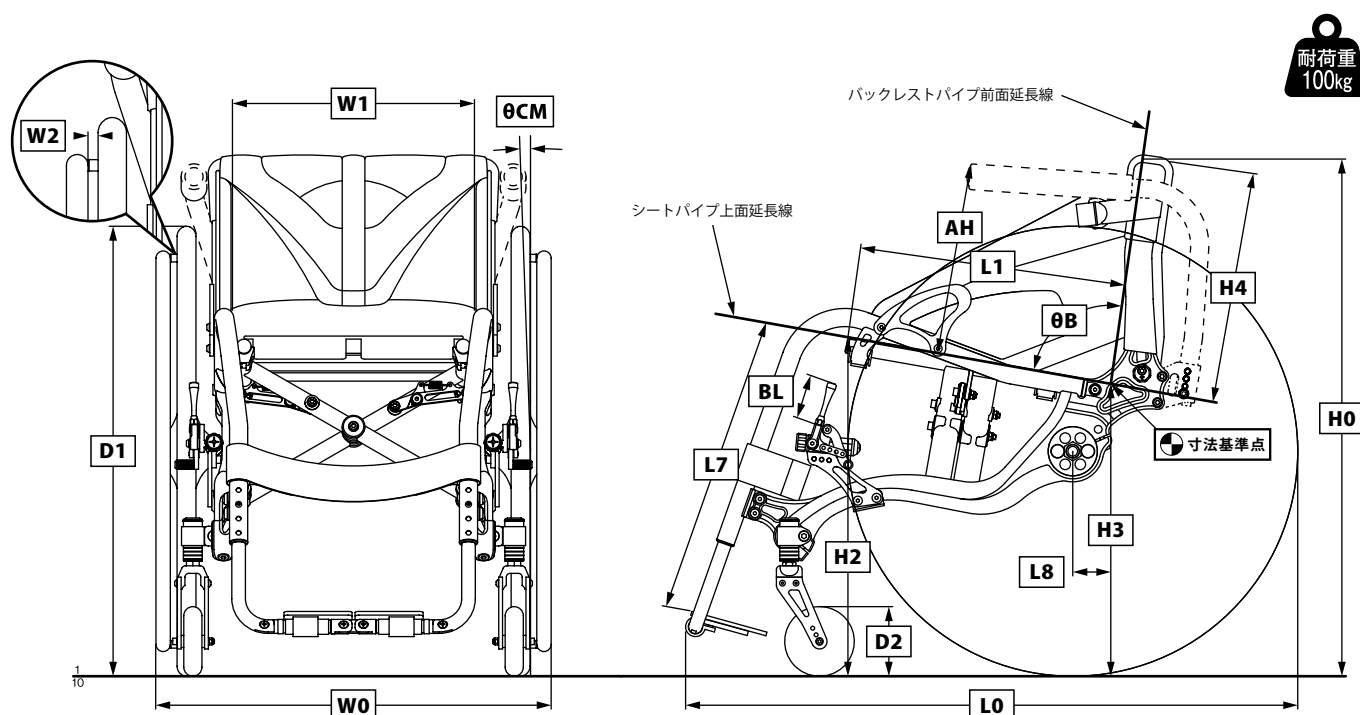


ZZR 仕様諸元 (単位: mm)

L0	全長	フレーム長&車軸タイプ&車軸軸前後位置寸法: ショート&車軸 A & 50 ⇒ 810 / ショート&車軸 B & 60 ⇒ 795 ロング&車軸 A & 50 ⇒ 855 / ロング&車軸 B & 60 ⇒ 840
H0	全高	682
H2	前座高	447
H3	後座高	385
W1	シート幅	フロントパイプ形状: ストレート⇒ 275 ~ 415 [20mmピッチ] *規格寸法は 280 ~ 420 シボリ⇒ 315 ~ 415 [20mmピッチ] *規格寸法は 320 ~ 420
L1	シート奥行	350・380・420
W0	全幅	524
WH	折りたたみ幅	フロントパイプ形状: ストレート⇒ 310 / シボリ⇒ 350
H4	バックレスト高	バックレストタイプ: ロー⇒ 300 ~ 350 / ミディアム⇒ 350 ~ 400 / ハイ⇒ 400 ~ 450 [10mmピッチ・可変]
θB	バックレスト角	86°・88°・90° [可変]
D1	タイヤサイズ	25-540 (外径: 595mm、リムサイズ: 24 × 1-3/8、* 24 インチ) ※ブロックタイヤ装着時は外径 610mm 25-559 (外径: 615mm、リムサイズ: 26 × 1.50、* 25 インチ)
L8	車軸前後位置寸法	車軸タイプ&キャンバー角: 車軸 A (エキセントリックカラー) & 0°⇒ 70 ~ 30 / 車軸 A (エキセントリックカラー) & -2°⇒ 70・50・30 車軸 B (リアサスペンション) & 0°⇒ 60・40
θCM	キャンバー角	車軸タイプ: 車軸 A (エキセントリックカラー) ⇒ 0°・-2° / 車軸 B (リアサスペンション) ⇒ 0°
W2	ハンドリム取付間隔	5・10・15・20・25・30
D2	キャストホイール径	WC R 5 ⇒ 100・125 / L P C 3 ⇒ 80・95・105・125 / ワイドキャスト⇒ 100・125 / 樹脂コア⇒ 92・105・127
BL	ブレーキレバー長	55・75・110・140 (水平を除く)
L7	フットレスト長	フレーム長: ショート⇒ 325 ~ 415 / ロング⇒ 335 ~ 425 [10mmピッチ・可変]
AH	アームレスト高	オプション
	重量	フレーム長: ショート⇒ 9.4kg / ロング⇒ 9.5kg

※上記仕様諸元表は、次の仕様を元に算出しております。

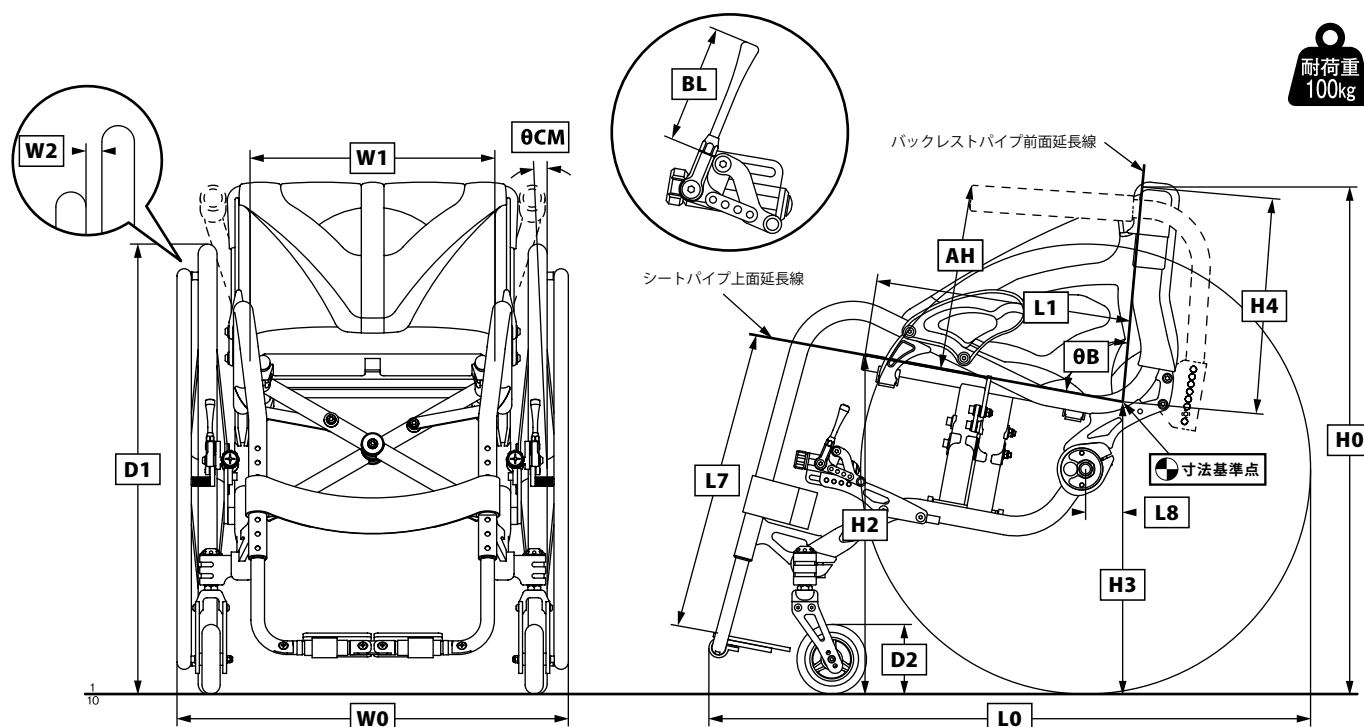
車軸タイプ: 車軸 A (エキセントリックカラー) / シート幅: 320mm / シート奥行: 350mm / バックレスト高: 300mm / バックレスト角: 88° / フットレスト長: 380mm / ホイール: D S 3 / タイヤ: 25-540 (外径 595mm) / 車軸前後位置寸法: 50mm / キャンバー角: 0° / ハンドリム取付間隔: 10mm / キャスターフォーク: C Z 2 - P r o / キャスターホイール径: 92mm / キャスターホルダー上下位置: 下から 5 段目 / キャスターホイール取付穴: 3 穴の下穴 / フットレスト: パイプジョイント s t d / オプション・アクセサリ: 無し



G W X III 仕様諸元 (単位: mm)		
L0	全長	フレーム長&フレーム高: ショート&レギュラー⇒ 800 / ロング&レギュラー⇒ 841 / ショート&ハイ⇒ 793 / ロング&ハイ⇒ 822
H0	全高	フレーム高: レギュラー⇒ 650 / ハイ⇒ 670
H2	前座高	シート奥行 350 の場合 フレーム高: レギュラー⇒ 428 / ハイ⇒ 445 シート奥行 380 の場合 フレーム高: レギュラー⇒ 434 / ハイ⇒ 450 シート奥行 420 の場合 フレーム高: レギュラー⇒ 441 / ハイ⇒ 456
H3	後座高	フレーム高: レギュラー⇒ 365 / ハイ⇒ 384
W1	シート幅	315(275) ~ 415(375) [20mmピッチ] *規格寸法は 320(280) ~ 420(380) [20mmピッチ] ()内はフットレスト幅
L1	シート奥行	350・380・420
W0	全幅	525
WH	折りたたみ幅	340
H4	バックレスト高	バックレストタイプ: ロー⇒ 280 ~ 330 / ミディアム⇒ 330 ~ 380 / ハイ⇒ 380 ~ 430 [10mmピッチ・可変]
θB	バックレスト角	86°
D1	タイヤサイズ	25-540 (外径: 595mm、リムサイズ: 24 × 1-3/8、* 24 インチ) ※ブロックタイヤ装着時は外径 610mm 25-559 (外径: 615mm、リムサイズ: 26 × 1.50、* 25 インチ)
L8	車軸前後位置寸法	70 ~ 40
θCM	キャンバー角	0°
W2	ハンドリム取付間隔	5・10・15・20・25・30 (5・10・15・20) ()内はスピナジーホイール選択の場合
D2	キャストホイール径	W C R 5 ⇒ 100 / L P C 3 ⇒ 80・95・105 / ワイドキャスト⇒ 100 / 樹脂コア⇒ 92・105
BL	ブレーキレバー長	55・75・110・140 (水平を除く)
L7	フットレスト長	フレーム高: レギュラー⇒ 310 ~ 400 / ハイ⇒ 330 ~ 420 [10mmピッチ・可変]
AH	アームレスト高	オプション
	重量	フレーム長&フレーム高: ショート&レギュラー⇒ 9.1kg / ショート&ハイ⇒ 9.2kg ロング&レギュラー⇒ 9.2kg / ロング&ハイ⇒ 9.3kg

※上記仕様諸元表は、次の仕様を元に算出しております。

シート幅: 320mm / シート奥行: 350mm / バックレスト高: 280mm / フットレスト長: フレーム長「ショート」の場合 390mm・「ロング」の場合 400mm / ホイール: D S 3 / タイヤ: 25-540(外径 595mm) / 車軸前後位置寸法: 50mm / ハンドリム取付間隔: 10mm / キャスターフォーク: C Z 2- P r o / キャスターホイール径: 92mm / キャスターホルダー位置: 標準位置 / キャスターホイール取付穴: 3 穴の中央 / フットレスト: パイプジョイント s t d / オプション・アクセサリ: 無し

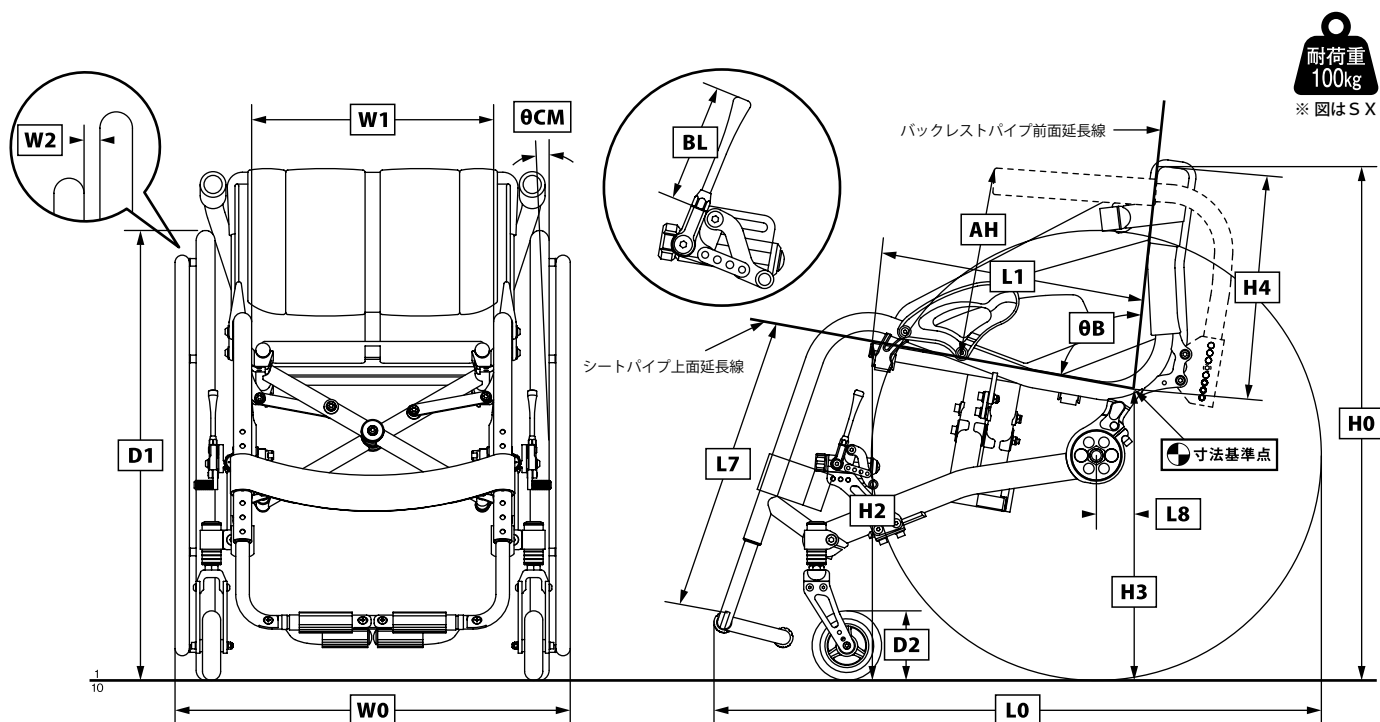


SX/SR 仕様諸元 (単位: mm)

L0	全長	フレーム長&フレーム高: ショート&レギュラー⇒806 / ショート&ハイ⇒803 / ショート&フラット⇒812 ロング&レギュラー⇒852 / ロング&ハイ⇒850 / ロング&フラット⇒860
H0	全高	フレーム高: レギュラー⇒655 / ハイ⇒682 / フラット⇒688
H2	前座高	フレーム高: レギュラー⇒433 / ハイ⇒446 / フラット⇒425
H3	後座高	フレーム高: レギュラー⇒360 / ハイ⇒385 / フラット⇒390
W1	シート幅	275 ~ 415 [20mmピッチ] *規格寸法は 280 ~ 420 [20mmピッチ]
L1	シート奥行	350・380・420
W0	全幅	524
WH	折りたたみ幅	309
H4	バックレスト高	バックレストタイプ: ロー⇒300 ~ 350 / ミディアム⇒350 ~ 400 / ハイ⇒400 ~ 450 [10mmピッチ・可変]
θB	バックレスト角	フレーム高: レギュラー⇒88° / ハイ⇒88° / フラット⇒90°
D1	タイヤサイズ	25-501 (外径: 560mm, リムサイズ: 22 × 1-1/4, * 22 インチ) 25-520 (外径: 580mm, リムサイズ: 24 × 1-1/8, * 23 インチ) 25-540 (外径: 595mm, リムサイズ: 24 × 1-3/8, * 24 インチ) ※ブロックタイヤ装着時は外径 610mm 25-559 (外径: 615mm, リムサイズ: 26 × 1.50, * 25 インチ)
L8	車軸前後位置寸法	車軸タイプ&フレーム高: 車軸 A & レギュラー⇒70 ~ 30 / 車軸 A & ハイ⇒70 ~ 30 / 車軸 A & フラット⇒50 ~ 10 [20mmピッチ] 車軸タイプ&フレーム高: 車軸 B & レギュラー⇒60・40 / 車軸 B & ハイ⇒60・40 / 車軸 B & フラット⇒40・20
θCM	キャンバー角	車軸タイプ: 車軸 A ⇒0°・-2° / 車軸 B ⇒0°
W2	ハンドリム取付間隔	5・10・15・20・25・30
D2	キャストホイール径	WC R 5⇒100・125 / LPC 3⇒80・95・105・125 / ワイドキャスト⇒100・125 / 樹脂コア⇒92・105・127
BL	ブレーキレバー長	55・75・110・140 (水平線を除く)
L7	フットレスト長	プレートジョイント s t d、パイプジョイント s t d、プレートセパレート s t d の場合 フレーム長: ショート⇒325 ~ 415(385) / ロング⇒335 ~ 425(395) [10mmピッチ・可変] () 内はフレーム高「フラット」の場合 プレートジョイント h i、プレートセパレート h i の場合 フレーム長: ショート⇒120 ~ 390 / ロング⇒130 ~ 400 [10mmピッチ・可変]
AH	アームレスト高	オプション
	重量	SX の場合 フレーム長: ショート⇒9.5kg / ロング⇒9.6kg SR の場合 フレーム長: ショート⇒9.8kg / ロング⇒9.9kg

※上記仕様諸元表は、次の仕様を元に算出しております。

シート幅: 320mm / シート奥行: 350mm / バックレスト高: 300mm / フットレスト長: 385mm / ホイール: D S 3 / タイヤ: 25-540(外径 595mm) / 車軸前後位置寸法: 50mm / キャンバー角: 0° / ハンドリム取付間隔: 10mm / キャスターフォーク: C Z 2 - S t d / キャスターホイール径: 92mm / キャスターホルダー上下位置: 下から 5 段目 / キャスターホイール取付穴: 3 穴の下穴 / フットレスト: パイプジョイント s t d / オプション・アクセサリ: 無し



※上記仕様諸元表は、次の仕様を元に算出しております。

シート幅:320mm / シート奥行:フレームサイズ S⇒330mm・M⇒350mm・L⇒380mm / バックレスト高:290mm / フットレスト長:フレームサイズ S、M⇒370mm・L⇒400mm / ホイール: A L - 5 / タイヤ: 25-540I / 外径 595mm / 車軸前後位置寸法: フレームサイズ S⇒40mm・M、L⇒60mm / キャンパー角: 0° / ハンドリム取付間隔: 10mm / キャスターフォーク: C Z 2 - P r o / キャスターホイール径: 92mm / キャスターホルダー上下位置: 下から 3 段目 / キャスターホイール取付穴: 3 穴の下穴 / フットレスト: パイプジョイント s t d / アームレスト: ロー (MXのみ) / オプション・アクセサリ: 無し



※上記仕様諸元表は、次の仕様を元に算出しております。

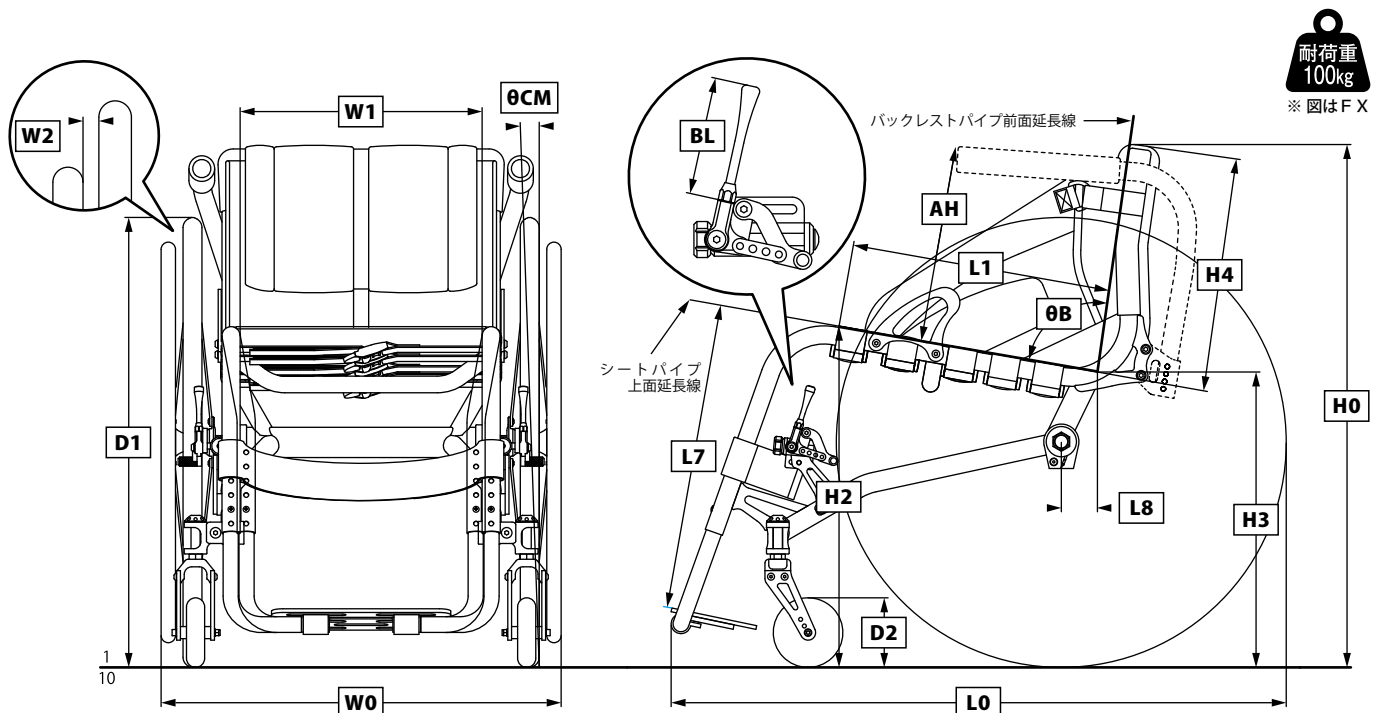
シート幅:320mm/シート奥行:350mm/バックレスト高:300mm/フットレスト長:390mm(レギュラー/ハイ)・370mm(フラット)/ホイール:DS 3/タイヤ:25-540(外径 595mm)/車軸前後位置寸法:50mm(レギュラー/ハイ)・30mm(フラット)/ハンドリム取付間隔:10mm/キャスターフォーク: CZ 2 - P r o/キャスターホイール径:92mm/キャスターホイール取付穴:3穴の下穴/フットレスト/パイプジョイント s t d /オプション・アクセサリ:無し



FX / FR 仕様諸元 (単位: mm)		
L0	全長	フレーム長&フレーム高: ショート&レギュラー⇒808 / ショート&ハイ⇒807 / ショート&フラット⇒807 ロング&レギュラー⇒858 / ロング&ハイ⇒852 / ロング&フラット⇒857
H0	全高	フレーム高: レギュラー⇒654 / ハイ⇒682 / フラット⇒688
H2	前座高	シート奥行350の場合 フレーム高: レギュラー⇒432 / ハイ⇒447 / フラット⇒425 シート奥行380の場合 フレーム高: レギュラー⇒438 / ハイ⇒451 / フラット⇒428 シート奥行420の場合 フレーム高: レギュラー⇒446 / ハイ⇒458 / フラット⇒432
H3	後座高	フレーム高: レギュラー⇒359 / ハイ⇒385 / フラット⇒390
W1	シート幅	275 ~ 415 *規格寸法は 280 ~ 420
L1	シート奥行	350・380・420
W0	全幅	532
H4	バックレスト高	バックレストタイプ: ロー⇒300 ~ 350 / ミディアム⇒350 ~ 400 / ハイ⇒400 ~ 450 [10mmピッチ・可変]
θB	バックレスト角	フレーム高: レギュラー⇒88° / ハイ⇒88° / フラット⇒90°
D1	タイヤサイズ	25-540 (外径: 595mm、リムサイズ: 24 × 1-3/8、* 24 インチ) ※ブロックタイヤ装着時は外径 610mm
L8	車軸前後位置寸法	70(50)・50(30)・30(10) ※ () 内はフレーム高「フラット」の場合
θCM	キャンバー角	0°
W2	ハンドリム取付間隔	5・10・15・20・25・30
D2	キャスターホイール径	WCR 5⇒100・125 / LPC 3⇒95・105・125 / ワイドキャスター⇒100・125 / 樹脂コア⇒92・105・127
BL	ブレーキレバー長	55・75・110・140 (水平線を除く)
L7	フットレスト長	フレーム長&フレーム高: ショート&レギュラー⇒310 ~ 400 / ショート&ハイ⇒320 ~ 410 / ショート&フラット⇒290 ~ 380 ロング&レギュラー⇒320 ~ 410 / ロング&ハイ⇒330 ~ 420 / ロング&フラット⇒300 ~ 390 [10mmピッチ・可変]
AH	アームレスト高	オプション
	重量	FXの場合 フレーム長&フレーム高: ショート&レギュラー⇒7.8kg / ショート&ハイ⇒7.9kg / ショート&フラット⇒7.9kg ロング&レギュラー⇒7.9kg / ロング&ハイ⇒8.0kg / ロング&フラット⇒8.0kg FRの場合 フレーム長&フレーム高: ショート&レギュラー⇒7.9kg / ショート&ハイ⇒8.0kg / ショート&フラット⇒8.0kg ロング&レギュラー⇒8.0kg / ロング&ハイ⇒8.1kg / ロング&フラット⇒8.1kg

※上記仕様諸元表は、次の仕様を元に算出しております。

シート幅: 320mm / シート奥行: 350mm / バックレスト高: 300mm / フットレスト長: 390mm (レギュラー/ハイ)・370mm (フラット) / ホイール: D S 3 / タイヤ: 25-540(外径 595mm) / 車軸前後位置寸法: 50mm (レギュラー/ハイ)・30mm (フラット) / ハンドリム取付間隔: 10mm / キャスターフォーク: C Z 2 - P r o / キャスターホイール径: 92mm / キャスターホイール取付穴: 3 穴の下穴 / フットレスト: パイプ / オプション・アクセサリ: 無し



お客様ご相談窓口のご案内

《 お客様ご相談窓口 》

お買い上げいただきました当社の製品やサービスについて、ご質問・ご意見・ご要望などがございましたらご遠慮なくお寄せください。また、各種オプション・アクセサリーのお問い合わせもご遠慮なくお寄せください。

株式会社オーエックスエンジニアリング

営業部 お客様ご相談窓口

TEL 043-228-0777

月曜～金曜 午前9:00～12:00 午後13:00～18:00

《 アフターサービスの実施 》

お買い上げいただきました販売店が、点検・修理をはじめ、アフターサービスのご相談などをお受けいたします。

当社への部品のお問い合わせや、故障箇所をご説明いただくときなどは、次の方法でお問い合わせください。

本書をお手元に用意していただき、巻末に記載されている取扱説明書NO.を確認して、「ZZR / GWXⅢ / SX / SR / MX / MR / LX / LR / FX / FR ○○年○月第○版の○○ページの、図○-○の、○○○」とご説明ください。

例) 27ページの、図2-8の「取付けボルト」

例) 44ページの、図2-32の「ボルト」

お問い合わせ先

株式会社 オーエックスエンジニアリング

営業部 お客様ご相談窓口（月曜～金曜 午前9:00～12:00 午後13:00～18:00）

〒265-0043 千葉県千葉市若葉区中田町 2186-1

TEL 043-228-0777

《 パンクでお急ぎの場合には 》

お近くの自転車販売店に修理を依頼してください。

販売元

株式会社オーエックスエンジニアリング

〒265-0043 千葉県千葉市若葉区中田町 2186-1

URL <https://www.oxgroup.co.jp/>



不法廃棄はしないでください。

ZZR / GWXⅢ / SX / SR / MX / MR / LX / LR / FX / FR 取扱説明書

2025 年 8 月 1 版

© OX ENGINEERING